

平成27年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の

点検・評価に関する報告書

(平成26年度事業対象)

平成27年8月

宮崎市教育委員会

目次

1	はじめに	1
2	教育委員会の活動に関すること	
(1)	平成26年度宮崎市教育委員会活性化プラン	2
(2)	点検評価シート1	3
3	教育委員会が管理・執行する事務に関すること	
(1)	点検評価シート2	5
4	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務等に関すること	
(1)	宮崎市教育ビジョンの概要	9
(2)	宮崎市教育ビジョンに基づいた点検・評価の事務フロー図	10
(3)	施策の方向性に関連する事業等のポイント化のフロー図	11
(4)	点検・評価の結果	
(ア)	主な施策別の点検・評価の結果表	12
(イ)	主な施策別の点検・評価の前年度評価比較表	13
(5)	基本目標別事務事業点検・評価シート3	
(ア)	基本目標1 学校教育の充実	14
(イ)	基本目標2 教育環境の充実	32
(ウ)	基本目標3 社会教育・家庭教育の充実	49
(エ)	重点目標 防災教育の充実	62
5	宮崎市教育委員会の総合評価	64
6	委員の意見等	65
7	今後の対応	66
	用語解説	67
	(*1 のような表記があるものについては、用語解説の中で説明を加えております。)	

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づいて、教育委員会の権限に属する事務の管理・執行状況について、平成20年度から点検・評価を行っています。

宮崎市教育委員会としましては、これまでも本市の教育の発展のために様々な事業に着手し、その結果等を踏まえて改革に取り組んできたところであります。

政策効果を把握し、必要性、効率性などの観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要なことでもあります。このような観点から、法の趣旨に鑑み、前年度に引き続き教育委員会が掌握する事務について点検・評価を行いました。

なお、この点検・評価に関する報告様式等については特段の定めがないことから、①教育委員会の活動、②教育委員会が管理・執行する事務、③教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務等について、①及び②の点検評価については、実績及びそれに基づく総括を行うこととしました。また③教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務等に関しては、第四次宮崎市総合計画後期基本計画との整合性を図り教育を取り巻く社会情勢の変化を反映するために見直された「宮崎市教育ビジョン改訂版（平成26年度～平成29年度）」に掲げる3つの基本目標とそれに関連する20の主な施策、新たに設けられた重点目標に関連する平成26年度の事務事業について、点検・評価を行うこととしました。

評価者

宮崎市教育委員会	教育長	二見 俊一
	代表教育委員	松野 隆
	委員	藤元 良一
	委員	上原 道子
	委員	崎田 由理
公立大学法人宮崎公立大学	教授	住岡 敏弘（学識経験者）
宮崎市PTA協議会	会長	児玉 照彦（学識経験者）

2 教育委員会の活動に関すること

教育委員会の活動に関しては、次頁のとおり、左側の点検項目と平成26年度宮崎市教育委員会活性化プランと対照し、実施状況を点検・評価いたしました。

(1) 平成26年度宮崎市教育委員会活性化プラン

本市教育委員会では、平成19年1月から毎年「宮崎市教育委員会改革プラン」を策定し、平成22年4月からは、改革プランをより充実させた「宮崎市教育委員会活性化プラン」を実践することで、教育委員会の活性化に向け、鋭意努力してきました。

また、宮崎市教育振興基本計画である「教育ビジョン」に基づき、地域、学校、家庭との連携に取り組み、毎年度、活性の観点から更なる充実を図っているところです。

平成26年度は、下記のとおり、計画し実施いたしました。

記

1. 教育委員による教育ビジョンの推進（通年）
2. 教育委員ディスカッション及び教育委員研修会の開催（通年）
3. 市長と教育委員との意見交換会の開催（平成26年11月）
4. 中学生と教育委員との意見交換会の開催（平成27年1月）
5. 保護者代表と教育委員との意見交換会の開催（平成27年3月）
6. 会議録の市ホームページでの公開（通年）

(2) 点検・評価シート1

項目	小項目	点検内容
(1) 教育委員会の活動に関する事	①教育委員会会議の開催回数	宮崎市教育委員会会議規則の定めのとおり、定例会を毎月1回、計12回、臨時会を2回、計14回開催しました。
	②教育委員会会議の運営上の工夫	教育委員会制度改革に係る教育委員デスクッションを2回、教育課程に関する勉強会及び平成27年度当初予算の概要についての勉強会を1回行いました。
(2) 教育委員会の会議の公開等に関する事	①教育委員会会議の傍聴者の状況	宮崎市のホームページで毎回委員会の開催案内を広報しました。傍聴者はありません。
	②会議録の公開、広報・広聴活動の状況	会議の議事録の公開請求はありません。 会議の議事は、平成20年度から宮崎市ホームページで公開しています。平成26年度の教育委員会の会議及び会議録のアクセス件数はホームページのリニューアルに伴い把握できませんでした。
(3) 教育委員会と事務局との連携に関する事	情報提供等	事務局から事前に資料提供を受け、各委員とも十分に内容把握の上、委員会に出席し検討を行いました。 事務局から、緊急事案に関する情報提供について、速やかに受けました。
(4) 教育委員会と市長の連携に関する事	市長との意見交換	市長と「教育委員会制度改革」に関する事及び「子どもの健全育成」に関する事について意見交換を行いました。 期日 平成26年11月14日(金) 場所 宮崎市役所本庁舎 特別会議室
(5) 教育委員の自己研鑽に関する事	研修会への参加状況	外国語指導助手(ALT)の授業視察研修を行いました。 期日 平成26年11月13日(木) 場所 大宮中学校
(6) 学校訪問及び各種行事への参加に関する事	①学校訪問等	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員長と教育長が、18校の新任校長と意見交換しました。 ・学校訪問として、23日間、延べ50名の委員が32校の訪問を行いました。 ・教育委員と中学生との意見交換会を行いました。 期日 平成27年1月19日(月) 場所 教育情報研修センター 中学生10名

		<ul style="list-style-type: none"> • 教育委員と保護者代表との意見交換会を行いました。 <p>期日 平成 27 年 3 月 23 日 (月)</p> <p>場所 教育委員会室 保護者 5 名</p>
	②各種行事への参加等	防災教育セミナーや第 50 回宮崎市 PTA 研究大会などの行事に参加しました。

教育委員会の活動に関する総括	<p>平成 27 年度からの教育委員会制度改革に伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正内容等の勉強会や、新教育長体制への移行や総合教育会議の設置に関する意見交換など、新しい制度へ向けて議論を行う時間を設けました。</p> <p>その他、主な活動としましては、活性化の観点から毎年策定している「宮崎市教育委員会活性化プラン」に基づいた事業を、計画どおり実施することができました。「保護者代表との意見交換会」や「中学生との意見交換会」では、保護者や中学生の生の声を聞くことができ、大変有意義な会となりました。</p> <p>更に、通常の活動に加え、5 月末から 12 月にかけて、市内の小中学校の学校訪問を実施し、各現場の実態把握や課題調査に取り組むことができました。</p> <p>今後も、教育委員会の活動や各種教育に関する活動に取り組みながら、教育委員としての資質向上を更に目指し、努力して参りたいと考えております。</p>
----------------	--

3 教育委員会が管理・執行する事務に関すること

教育委員会が管理・執行する事務に関する点検評価に関しては、下表のとおり、左の項目に沿って、教育委員会会議（定例会議・臨時会議）の議案等を対照させ、実施状況を点検・評価いたしました。

(1) 点検・評価シート2

項目	小項目	点検内容
(1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること。	・基本方針の策定	・該当ありません
(2) 教育委員会規則及び規程を制定し、又は改廃すること。	①経常的なもの	平成26年12月 第13回定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市佐土原交流プラザ管理規則の一部改正について 平成27年2月 第3回定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市教育委員会の権限に属する事務の補助執行規程の一部改正について 平成27年3月 第5回定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整理に関する規則について ・宮崎市教育委員会教育長事務委任規程の一部改正について ・宮崎市立学校施設の開放に関する規則の一部改正について ・宮崎市教育委員会事務局処務規則の一部改正について ・宮崎市教育委員会事務決裁規程の一部改正について ・宮崎市立小中学校事務処理規程の一部改正について ・宮崎市教育委員会の権限に属する事務の補助執行規程の一部改正について ・宮崎市佐土原交流プラザ管理規則の一部改正について ・宮崎市生目の杜遊古館条例施行規則の一部改正について ・宮崎市立幼稚園規則の一部改正について
	②臨時的なもの	・該当ありません。

<p>(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること。</p>	<p>①経常的なもの</p>	<p>【条例の制定並びに改正に関すること】</p> <p>平成26年5月 第6回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮崎市立古城小学校振興基金条例の制定について <p>平成26年8月 第9回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮崎市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の原案について <p>平成26年11月 第12回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮崎市交流センター条例の一部改正の原案について (広瀬地区交流センターの設置に伴うもの) <p>平成27年2月 第2回臨時会</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮崎市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について 宮崎市教育長の給与等に関する条例等の一部改正について <p>平成27年2月 第3回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮崎市立学校体育施設使用料条例の原案について (市立学校の体育施設の使用料徴収に伴う) 宮崎市佐土原総合文化センター条例の一部改正の原案について (佐土原交流プラザ大ホールの舞台の使用に係る使用料の定めに伴う) 宮崎市きよたけ児童クラブ施設条例の一部改正の原案について (開所時間及び休所日の変更に伴う) 宮崎市立幼稚園条例の一部改正の原案について (幼稚園の保育料及び入園料の見直しに伴う) <p>【予算・決算に関すること】</p> <p>平成26年8月 第9回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度一般会計歳入歳出決算の原案 平成26年度一般会計補正予算案の原案 <p>平成26年11月 第12回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度一般会計補正予算案の原案 <p>平成27年2月 第3回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度一般会計予算案の原案 平成26年度一般会計補正予算案の原案
<p>(4) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は</p>	<p>②臨時的なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨時的なもの 	<ul style="list-style-type: none"> 該当ありません。

廃止すること。		
(5) 教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免その他の人事(県費負担に係る教職員の扶養手当の月額認定、児童手当の受給資格及び額の認定並びに住居手当、通勤手当及び単身赴任手当の月額の決定を除く。)に関すること。	・人事異動	平成27年3月 第5回定例会 ・課長相当職以上の職にある者の人事異動について (教育委員会の充実と活性化を図るため、市長部局との交流を図るなど、市長部局から転入が71名、他部局への転出や昇任等が36名、指導主事の転入が9名の人事異動を行いました。)
(6) 県費負担に係る校長の任免その他の人事の内申に関すること。	・校長の異動に関する内申	平成27年3月 第4回臨時会 平成27年4月の人事異動に際し、小学校校長4名、中学校校長3名の転出異動に係る内申を行いました。
(7) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること。	・教職員の異動に関する内申	平成27年3月 第4回臨時会 平成27年4月の人事異動に際し、校長を除き小学校210名、中学校121名の転出異動に係る内申を行いました。
(8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関すること。	・委員の選任	各委員の選任について、教育長提案のとおり、承認しました。 平成26年5月 第6回定例会 ・宮崎市特別支援教育就学相談委員会委員の委嘱について他5件 平成26年6月 第7回定例会 ・宮崎市立小中学校通学区審議会委員の委嘱について他6件 平成26年10月 第11回定例会 ・宮崎市青少年指導委員の委嘱について
(9) 教科用図書の採択の決定に関すること。	・教科用図書の採択	平成26年7月 第8回定例会 ・平成27年度に使用する小学校用教科用図書の採択について
(10) 通学区域を設定し、又は変更すること。	・通学区域	・該当ありません
(11) 文化財を指定し、又は指定を解除すること。	・文化財の指定	平成26年4月 第5回定例会 ・宮崎市指定有形文化財の指定について(武家門4件)
(12) 請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関すること。	・要望書の受理	・該当ありません
(13) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定によ	・報告書の公開	平成26年8月 第9回定例会 「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書」を決定しました。

<p>る点検及び評価に関すること。</p>		<p>平成26年9月16日付けで宮崎市議会議長に報告書を提出しました。 宮崎市ホームページにて公開しました。</p>
<p>(14) その他重要又は異例と認められる事項</p>	<p>・特別に協議した事項</p>	<p>平成26年10月 第11回定例会 ・教育長の選任について 平成27年2月 第2回臨時会 ・宮崎市教育委員会委員の辞職の同意について (平成27年4月1日からの新教育委員会制度への移行に向けて、旧教育長の辞職が同意されました) 平成27年2月 第3回定例会 ・「連携中枢都市圏の形成に係る連携協約」における教育委員会として取り組む内容について</p>

<p>教育委員会が管理・執行する事務に関する総括</p>	<p>教育委員会が管理・執行する事務について、議案として提出されたものは事務局に対し質疑を行ったうえで、議案の承認を行うことができました。</p> <p>平成26年度は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が平成27年4月から施行されるのに伴い、我々教育委員会が関係する教育委員会会議規則や事務委任規則等の一部改正を行う議案について、勉強会を行うなど時間をかけて審議を行いました。</p> <p>教育委員会が管理・執行する事務については、概ね順調に推移しています。引き続き、適切な執行に努めていきます。</p>
------------------------------	--

4 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務等に関すること

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務等に関しては、平成26年度に改訂した宮崎市教育ビジョン改訂版に沿って、各事務事業の実施状況を点検・評価いたしました。

(1) 宮崎市教育ビジョン(改訂版)の概要

【基本理念】

宮崎で育ち、学ぶことを通して、郷土に誇りと愛着をもつ
感性豊かな「みやざきっ子」の育成

【基本目標】と【重点目標】

基本目標1 学校教育の充実

～『みやざきっ子』を育む学校教育の充実～

- (主な施策)
- 1-1 確かな学力の向上
 - 1-2 生徒指導の充実
 - 1-3 特別支援教育の充実
 - 1-4 体力の向上
 - 1-5 学校保健活動の充実
 - 1-6 地域の歴史に対する認識の向上
 - 1-7 キャリア教育の充実
 - 1-8 国際理解教育の充実

基本目標2 教育環境の充実

～『みやざきっ子』の学びを支える教育環境の整備・充実～

- (主な施策)
- 2-1 教職員の資質向上
 - 2-2 読書活動の推進
 - 2-3 子どもの居場所づくりの推進
 - 2-4 安全でおいしい学校給食の提供
 - 2-5 学習関連施設の利用促進・活用推進
 - 2-6 学校施設の充実

基本目標3 社会教育・家庭教育の充実

～『みやざきっ子』を地域全体で守り育てる社会教育・家庭教育の充実～

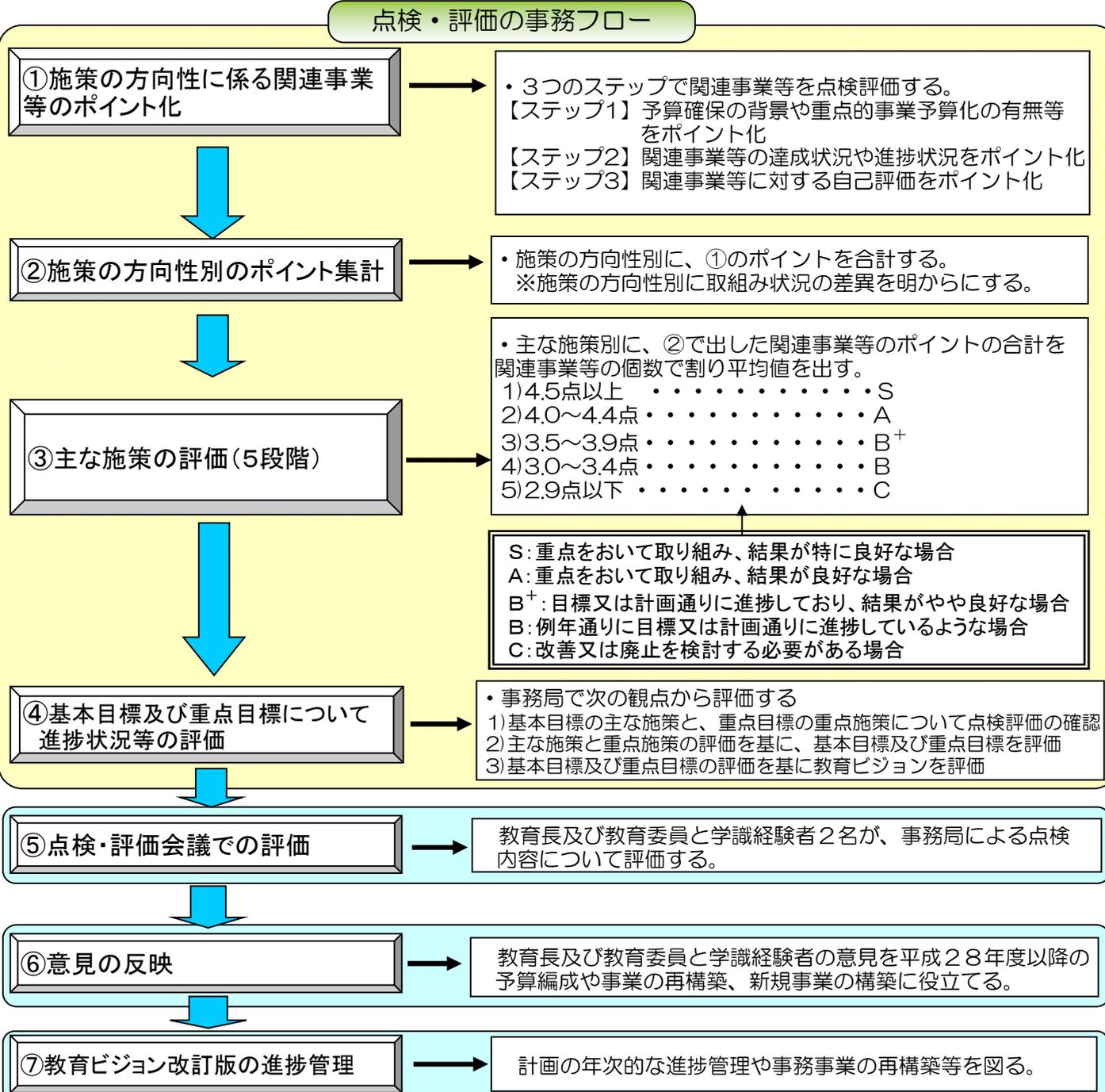
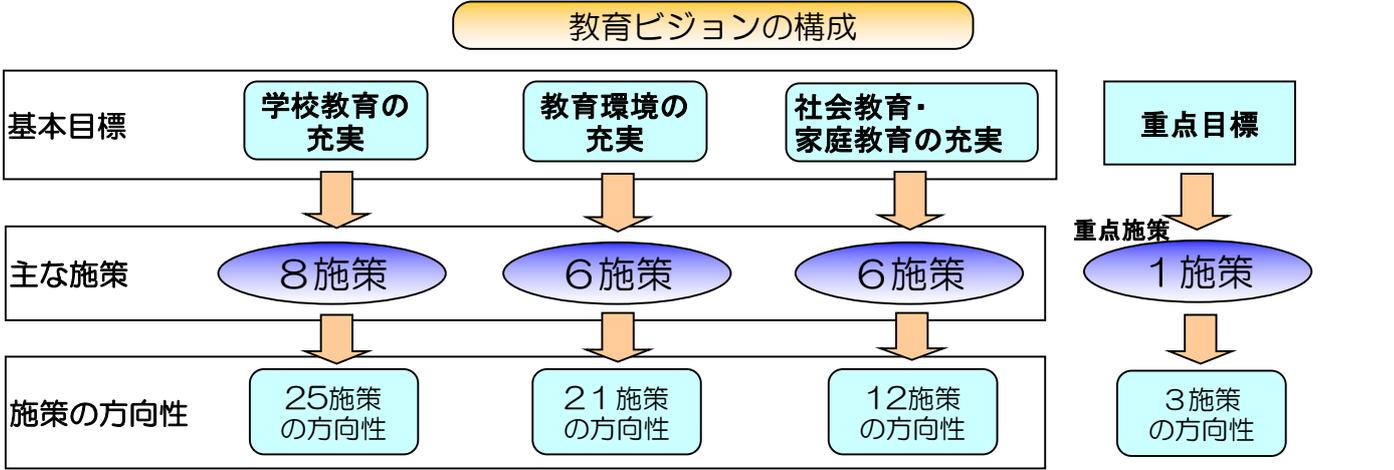
- (主な施策)
- 3-1 開かれた学校づくりの推進
 - 3-2 地域と学校の連携
 - 3-3 体験活動の推進
 - 3-4 次世代の育成
 - 3-5 食育の推進
 - 3-6 公立公民館等の充実

重点目標 防災教育の充実

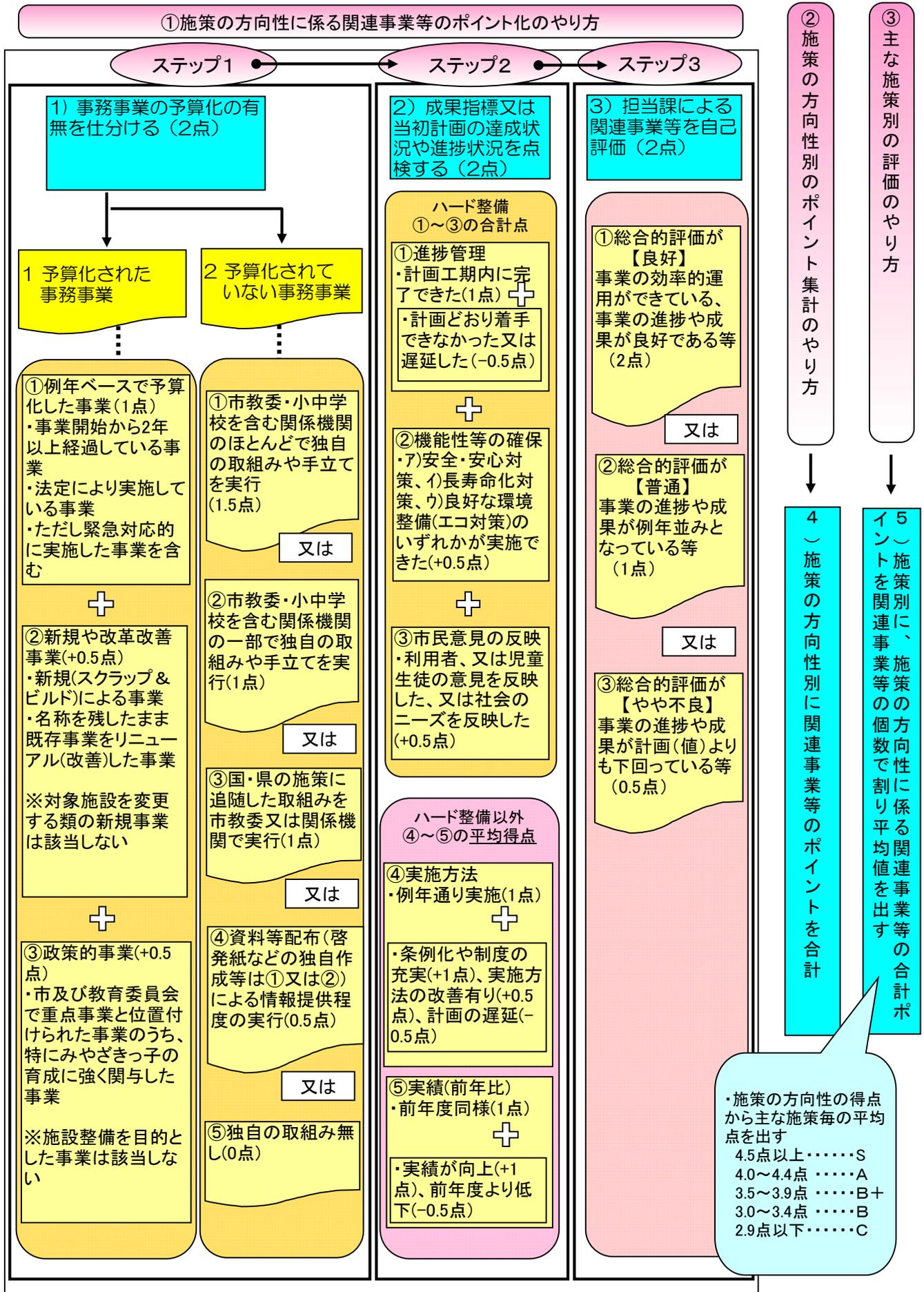
- (主な施策)
- 重点-1 教育活動全体を通じた防災教育・減災教育の充実
 - 重点-2 さまざまな状況を想定した実効性のある避難訓練の推進
 - 重点-3 防災主任を中心としたリーダーの育成

(2) 宮崎市教育ビジョンに基づいた点検・評価の事務フロー図

【目的】
教育ビジョンに沿った平成26年度の事務事業等の実施状況、また教育ビジョンの進捗及び達成状況の点検・評価を行う。



(3) 施策の方向性に関連する事業等のポイント化のフロー図



(4) 点検・評価の結果

(ア) 主な施策別の点検・評価の結果表

基本目標1 学校教育の充実	主な施策の方向性の本数	評価	平均値(1)/(2)	施策の方向性の得点(1)	関連事業等の個数(2)
1-1 確かな学力の向上	3	B ⁺	3.6	32.0	9
1-2 生徒指導の充実	4	B ⁺	3.8	41.5	11
1-3 特別支援教育の充実	4	A	4.2	29.1	7
1-4 体力の向上	2	B ⁺	3.5	7.0	2
1-5 学校保健活動の充実	5	B	3.4	20.3	6
1-6 地域の歴史に対する認識の向上	2	B	3.4	13.5	4
1-7 キャリア教育の充実	2	B ⁺	3.5	7.0	2
1-8 国際理解教育の充実	3	B ⁺	3.5	7.0	2
小計又は平均値	25	-	3.6	-	43
基本目標2 教育環境の充実	主な施策の方向性の本数	評価	平均値(1)/(2)	施策の方向性の得点(1)	関連事業等の個数(2)
2-1 教職員の資質向上	3	B ⁺	3.5	14.0	4
2-2 読書活動の推進	3	B	3.1	40.5	13
2-3 子どもの居場所づくりの推進	2	B	3.3	13.3	4
2-4 安全でおいしい学校給食の提供	3	B ⁺	3.5	10.5	3
2-5 学習関連施設の利用促進・活用推進	5	B	3.1	27.5	9
2-6 学校施設の充実	5	B ⁺	3.5	35.0	10
小計又は平均値	21	-	3.3	-	43
基本目標3 社会教育・家庭教育の充実	主な施策の方向性の本数	評価	平均値(1)/(2)	施策の方向性の得点(1)	関連事業等の個数(2)
3-1 開かれた学校づくりの推進	2	B	3.3	10.0	3
3-2 地域と学校の連携	2	B	3.3	13.3	4
3-3 体験活動の推進	2	B	3.0	9.0	3
3-4 次世代の育成	2	B	3.0	18.0	6
3-5 食育の推進	3	B	3.0	9.0	3
3-6 公立公民館等の充実	1	B	3.1	18.5	6
小計又は平均値	12	-	3.1	-	25
重点目標 防災教育の充実	主な施策の方向性の本数	評価	平均値(1)/(2)	施策の方向性の得点(1)	関連事業等の個数(2)
重点施策 防災教育の充実	3	B ⁺	3.9	19.5	5
小計又は平均値	3	-	3.9	-	5

計	61	-	3.49	-	116
---	----	---	------	---	-----

		A	B ⁺	B	計
基本目標1 学校教育の充実	個数	1	5	2	8
	%	13%	63%	25%	100%
基本目標2 教育環境の充実	個数	0	3	3	6
	%	0%	50%	50%	100%
基本目標3 社会教育・家庭教育の充実	個数	0	0	6	6
	%	0%	0%	100%	100%
重点目標 防災教育の充実	個数	0	1	0	1
	%	0%	100%	0%	100%

(イ) 主な施策別の点検・評価の前年度評価比較表

主な施策名	H26年度事業			平均点 対比	H25年度事業		
	順位	評価	平均点		順位	評価	平均点
1-3 特別支援教育の充実	1	A	4.2	←	1	A	4.0
重点施策 防災教育の充実	2	B ⁺	3.9	—	—	—	—
1-2 生徒指導の充実	3	B ⁺	3.8	←	2	B ⁺	3.9
1-1 確かな学力の向上	4	B ⁺	3.6	←	10	B	3.3
1-4 体力の向上	5	B ⁺	3.5	←	10	B	3.3
1-7 キャリア教育の充実	5	B ⁺	3.5	←	4	B ⁺	3.8
1-8 国際理解教育の充実	5	B ⁺	3.5	←	10	B	3.3
2-1 教職員の資質向上	5	B ⁺	3.5	←	6	B ⁺	3.5
2-4 安全でおいしい学校給食の提供	5	B ⁺	3.5	←	6	B ⁺	3.5
2-6 学校施設の充実	5	B ⁺	3.5	←	6	B ⁺	3.5
1-5 学校保健活動の充実	11	B	3.4	←	16	B	3.1
1-6 地域の歴史に対する認識の向上	11	B	3.4	※ ↙	2	B ⁺	3.9
2-3 子どもの居場所づくりの推進	13	B	3.3	←	16	B	3.1
3-1 開かれた学校づくりの推進	13	B	3.3	※ ↙	4	B ⁺	3.8
3-2 地域と学校の連携	13	B	3.3	←	18	B	3.0
2-2 読書活動の推進	16	B	3.1	←	9	B	3.4
2-5 学習関連施設の利用促進・活用推進	16	B	3.1	←	10	B	3.3
3-6 公立公民館等の充実	16	B	3.1	—	—	—	—
3-3 体験活動の推進	19	B	3.0	←	10	B	3.3
3-4 次世代の育成	19	B	3.0	←	18	B	3.0
3-5 食育の推進	19	B	3.0	←	15	B	3.2

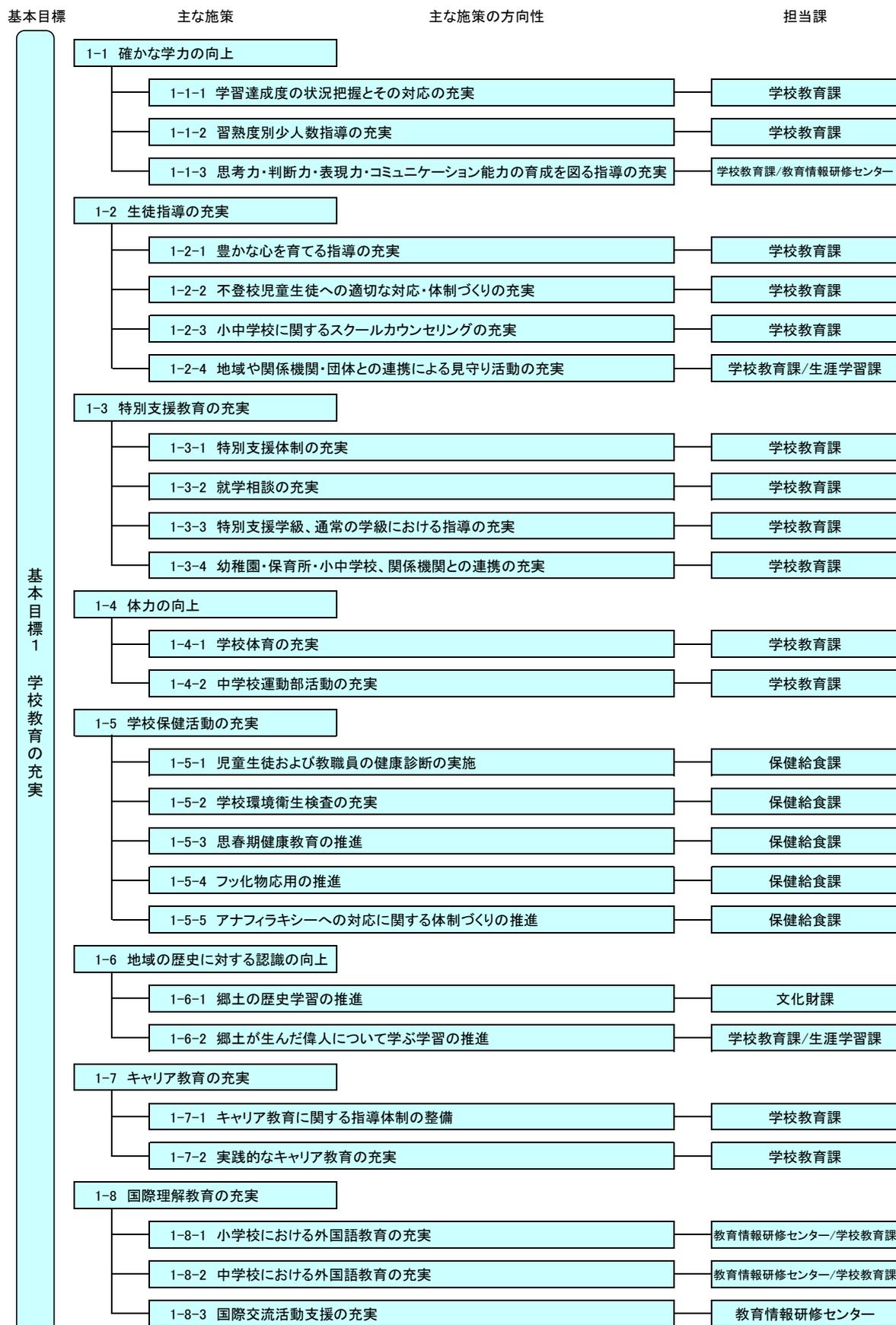
平均点対比で0.4点以上の増減がある場合に矢印に傾きをつけている。

※前年度と同じ水準で推移しており、例年通り事業を実施できている。

(5) 基本目標別事務事業の点検・評価シート3

(ア) 基本目標1 学校教育の充実

宮崎市教育ビジョンの施策の方向性と関連事業を実施する担当課との関係図



基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 1 確かな学力の向上

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S・・・4.5点以上 A・・・4.0～4.4点 B+・・・3.5～3.9点 B・・・3.0～3.4点 C・・・2.9点以下
B ⁺	3.6	32.0	9	

施策推進のための管理指標の状況

指標	基礎的・基本的な知識・技能を定着させる指導を「おおむね満足」「どちらかという満足」と回答する保護者の割合【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	非常勤講師を派遣し、学校訪問において指導・助言を行うことにより児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能を定着させる指導力・指導方法の向上を図った。	87.4%	※	※	-	-	100%
指標	学校で子どもの学ぶ意欲を高める指導を「行っている」「どちらかという行っている」とする保護者の割合【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	非常勤講師を派遣し、習熟度に応じた学習を促進させ、子どもの学ぶ意欲の向上に努めた。	73%	※	※	-	-	100%
指標	CRT検査*1 得点率全国比【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	中学校における目標値は達成していないものの全国平均(100)は上回っている。	小106 中112	小104 中107	小106 中105	-	-	小108 中114

※アンケート未実施 最終年度に行う。

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-1-1 学習達成度の状況把握とその対応の充実	学校教育課	学力充実推進事業	児童生徒の学習の達成状況を把握するために、小学校4年生の全児童・中学校1年生の全生徒に対し、CRT検査を実施しました。	1.5			1.0	1.0	3.5	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			108(小) 114(中) ⇒ 106(小) 105(中)	CRT検査の得点率の平均(小:国算2教科の平均)(全国平均を100とする)								
【特筆事項】												
1-1-2 習熟度別少人数指導の充実	学校教育課	小学校学力向上支援事業	児童の実態に応じた少人数指導等の学習支援を行うため、非常勤講師を派遣しました。	1.5			1.5	1.0	4.0	18.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			110(小) ⇒ 108(小)	成果指標は、対象校のCRT検査の得点率の平均(小:国算2教科の平均)(全国平均を100とする)								
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計	
				有り	無し	ハード	ハード以外				
1-1-2 習熟度別 少人数指導の充実	学校教育課	小学校学力向上支援事業に係る学校訪問	派遣している非常勤講師の活動状況を確認し、必要に応じ指導・助言を行いました。		1.5		1.0	1.0	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			/ → /								
			【特筆事項】								
1-1-2 習熟度別 少人数指導の充実	学校教育課	中学校習熟度別少人数指導推進事業	生徒の学習の習熟度に応じて学級を分け、数学・英語のきめ細かな授業をするために非常勤講師を派遣しました。	1.5			1.0	1.0	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			112 ⇒ 105	成果指標は、対象校のCRT検査の得点率の平均(中:国数英3教科の平均)(全国平均を100とする)							
			【特筆事項】								
1-1-2 習熟度別 少人数指導の充実	学校教育課	中学校習熟度別少人数指導推進事業に係る学校訪問	派遣している非常勤講師の活動状況を確認し、必要に応じ指導・助言を行いました。		1.5		1.0	1.0	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			/ → /								
			【特筆事項】								
1-1-2 習熟度別 少人数指導の充実	学校教育課	「複式授業の緩和」推進事業	複式学級を設置している内海小、鏡洲小、浦之名小の複式授業の緩和を図るため、非常勤講師を派遣しました。	1.5			1.5	1.0	4.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			104(国) ⇒ 121(国) 110(算) ⇒ 111(算)	3校のCRT検査の得点率の平均(国語・算数)(全国平均を100とする)							
			【特筆事項】 本事業により、複式授業が緩和され、きめ細かな対応が可能となることから、目標値を上回るなど、効果がうかがわれる。								

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-1-3 思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力の育成を図る指導の充実	学校教育課	小学校教育活動推進事業	小学校の教育振興を図るため、学校教育研究会教科等部会への運営補助をはじめ、音楽大会や夏休み作品展などの各種行事への補助を行いました。	1.0			1.5	1.0	3.5	10.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			3,800人 ⇒ 4,473人	作品展に出展した人数や各種コンクール等に参加した児童数の合計								
			【特筆事項】									
1-1-3 思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力の育成を図る指導の充実	学校教育課	中学校教育活動推進事業	中学校の教育振興を図るため、学校教育研究会教科等部会への運営補助をはじめ、毛筆・硬筆書道展や英単語コンテスト、夏休み作品展などの各種行事への補助を行いました。また中学1年生に社会科副読本を配付しました。	1.0			1.5	1.0	3.5	10.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			2,000人 ⇒ 3,517人	作品展に出展した人数や各種コンクール等に参加した生徒数の合計								
			【特筆事項】									
1-1-3 思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力の育成を図る指導の充実	教育情報研修センター	情報教育推進事業	教育の情報化及び確かな学力の定着を図るために、小中学校に情報教育アドバイザーを派遣するほか、教職員研修の充実を図るなど、ICT ^{*2} を活用した学習活動ができるよう支援しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	10.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			80% ⇒ 76%	成果指標は、ICTを活用した学習活動ができる職員の割合								
			【特筆事項】									

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 2 生徒指導の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S・・・4.5点以上 A・・・4.0～4.4点 B+・・・3.5～3.9点 B・・・3.0～3.4点 C・・・2.9点以下
B ⁺	3.8	41.5	11	

施策推進のための管理指標の状況

指標	不登校児童生徒の割合【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	不登校児童生徒の学校復帰に向けて、児童生徒や保護者との信頼関係を確立するために、学校と6つの適応指導教室 ^{*3} 、宮崎市教育相談センターとの連携を図りながら取り組んでいる。	1.2%	1.4%	1.28%	-	-	0.97%
指標	適応指導教室に通級する不登校児童生徒の学校復帰率(一部復帰を含む)【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	6つの適応指導教室において、児童生徒の状況に応じた学業指導や体験活動等の指導を通して、通級する児童生徒の学校復帰を支援している。	62%	83%	57%	-	-	100%

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-2-1 豊かな心を育てる指導の充実	学校教育課	いじめ防止対策推進事業	「宮崎市いじめ防止基本方針」に基づき、「宮崎市いじめ防止対策委員会」や教職員の資質向上を図る研修会を実施しました。	1.5			1.0	2.0	4.5	9.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			73校 ⇒ 73校	成果指標は、研修会に参加した学校数								
【特筆事項】 いじめを未然に防止するため、教職員の資質向上を図る研修会を実施するとともに、全小中学校において「学校いじめ防止基本方針」が作成された。												
1-2-1 豊かな心を育てる指導の充実	学校教育課	魅力ある学校づくり調査研究事業	宮崎中学校を拠点校とし、校区内の3小学校と連携し、不登校やいじめ等の未然防止につながる授業づくりや集団づくりを進める、魅力ある学校づくりの調査研究を実施しました。	1.5			1.0	2.0	4.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			⇒									
【特筆事項】 小中が連携した取組はもちろんのこと、小中の連携による取組が行われることで、中学校へ進学する際の児童や保護者の安心感につなげることができた。												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-2-2 不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実	学校教育課	不登校児童生徒対策事業	不登校児童生徒やその保護者に対して、適応指導教室のスクールアドバイザー*4や専門相談員が指導や援助を行うことで、学校復帰に向けての支援を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	14.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			70% ⇒ 57%	適応指導教室に入級した児童生徒のうち、学校に復帰した児童生徒の割合(週1日以上登校)								
			【特筆事項】 スクールアドバイザー等による指導や援助により、適応指導教室の学校復帰を目指しているが、目標値に達することができなかった。									
1-2-2 不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実	学校教育課	生徒指導に関する学校訪問	生徒指導に関する学校訪問を定期的(小学校年1回、中学校年2回)に実施することにより、各学校の生徒指導に関する現状と課題、その対応策等を把握するとともに、指導助言を行うことで教員の生徒指導に関する資質の向上を図り、児童生徒の健全な育成を目指しました。		1.5		1.0	2.0	4.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			98回 ⇒ 98回	学校訪問の回数(中学校2回、小学校1回)								
			【特筆事項】 全ての小中学校を訪問し、各学校の生徒指導上の課題等を把握するとともに、課題解決に向けた協議を行うことで、学校と教育委員会との連携をより効率よく行うことができた。									
1-2-2 不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実	学校教育課	生徒指導に関するケース会議	児童生徒やその保護者の実態や支援の必要な背景、課題等について福祉機関、医療機関、相談機関等と連携してその解決のために協議したり、情報を交換したりしました。		1.5		1.0	1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			△ ⇒ △									
			【特筆事項】									
1-2-2 不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実	学校教育課	適応指導教室運営支援	適応指導教室に配置されているスクールアドバイザーや相談員等に対して、年3回定期的に適応指導教室の運営に関わる研修を行い、スクールアドバイザー等の資質の向上に努めました。		1.5		1.0	1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			3回 ⇒ 3回	適応指導教室の運営に関わる研修回数								
			【特筆事項】									

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-2-3 小中学校に関する スクールカウンセリングの 充実	学校教育課	小中学校スクールカウンセリング等事業	小学校のいじめや不登校に関する保護者や教職員への相談ニーズに対応するために、専門的な知識をもつ者によるカウンセリングを行うとともに、中学校にスクールアシスタント ^{*5} を派遣しました。	1.5			1.5	2.0	5.0	8.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
【特筆事項】 スクールカウンセラー ^{*6} への相談件数は年間を通して多く、児童生徒や保護者に寄り添う相談活動を行うことができた。また、スクールアシスタントによる機動的な対応は、学校にとって問題を解決する大きなサポートとなっている。												
1-2-3 小中学校に関する スクールカウンセリングの 充実	学校教育課	教育相談センター運営支援	相談センターに配置されているスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー ^{*7} への相談業務に関わる指導助言を行いました。		1.5		1.0	1.0	3.5	9.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
【特筆事項】												
1-2-4 地域や関係機関・団体との連携による見守り活動の充実	学校教育課	不審者情報や重大事件への対応	小中学校への声かけ事案や不審者及び重大事件が発生した場合、関係の小中学校や地域事務所等に情報を提供し、未然防止に努めました。		1.5		1.0	1.0	3.5	9.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			100% ⇒ 100%	各学校への情報提供率								
【特筆事項】												
1-2-4 地域や関係機関・団体との連携による見守り活動の充実	生涯学習課	青少年非行防止・育成事業	青少年の健全育成を図るため、街頭指導、相談活動、啓発活動等を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	9.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			700人 ⇒ 590人	街頭指導の対象となった青少年の延べ人数								
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計	
				有り	無し	ハード	ハード以外				
1-2-4 地域や関係機関・団体との連携による見守り活動の充実	生涯学習課	青少年育成センター管理費	青少年の健全育成を図るための拠点施設となる、同センターの管理運営費を支出しました。	1.0			1.0	1.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			700人 ⇒ 590人	街頭指導の対象となった青少年の延べ人数							
【特筆事項】											

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 3 特別支援教育の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S・・・4.5点以上 A・・・4.0～4.4点 B+・・・3.5～3.9点 B・・・3.0～3.4点 C・・・2.9点以下
A	4.2	29.1	7	

施策推進のための管理指標の状況

指標	内容	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
指標 1	特別な支援を要する児童生徒への配慮や指導に満足している保護者の割合【学校教育課】						
進捗状況	効果的で適切な指導及び適正就学が行われるよう、特別支援学級において編成される教育課程について点検及び指導を行い、児童生徒に対する配慮や指導の向上を図った。	79.6%	※	※	-	-	100%
指標 2	特別支援教育スクールサポーター ^{*8} の配置人数【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	配置人数は微増である。配置人数の増加は厳しい状況で、配置校兼務で対応しているところである。	44人	45人	46人	-	-	50人

※アンケート未実施 最終年度に行う。

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-3-1 特別支援体制の充実	学校教育課	特別支援学級 ティーチングスタッフ派遣事業	重度の障がいのある児童生徒が多数在籍する特別支援学級がある学校に、非常勤講師を派遣しました。	1.5			1.0	2.0	4.5	14.1		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			32% ⇒ 32%	非常勤講師が派遣されている学校の割合								
【特筆事項】 在籍児童生徒数が多い特別支援学級にティーチングスタッフを派遣することで、個に応じた具体的な指導が可能となっている。												
1-3-1 特別支援体制の充実	学校教育課	特別支援教育 スクールサポート事業	通常学級に在籍している発達障がいのある児童生徒に対して、学習指導や生活指導を行うため、スクールサポーターを派遣しました。	1.5			0.8	2.0	4.3			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			75% ⇒ 73%	スクールサポーター配置校の全小中学校に占める割合								
【特筆事項】 前年度よりも多いスクールサポーターを派遣することができた。スクールサポーターの支援によって、該当児童生徒の学習面・生活面の改善が見られた。教師にとっても、指導の困難さが緩和された。												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-3-1 特別支援体制の充実	学校教育課	教育アシスタント ^{*9} 派遣事業	下肢等に障がいのある児童生徒の学校生活の介助を目的として、教育アシスタントを派遣しました。	1.5			1.8	2.0	5.3			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			27人 ⇒ 28人	教育アシスタントの介助を受けている児童生徒数								
			【特筆事項】 前年度より多く教育アシスタントを派遣することができた。教育アシスタントの支援によって、該当児童生徒が、障がいのない児童生徒とともに学校生活を送ることができた。									
1-3-2 就学相談の充実	学校教育課	特別支援教育等管理事業	障がいのある幼児、新入学児及び在学児童生徒に対し、適切な就学指導を行うため就学相談委員会を設置し、必要な検査・調査・相談を実施しました。また、特別支援学級新設にかかる備品・消耗品を整備しました。	1.5			1.0	1.0	3.5	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			△ ⇒ △									
			【特筆事項】									
1-3-3 特別支援学級、通常の学級における指導の充実	学校教育課	特別支援学級の教育課程編成の指導	特別支援学級において効果的で適切な指導及び適正就学が行われるよう、特別支援学級において編成される教育課程について点検及び指導を行いました。		1.5		1.0	1.0	3.5	7.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			100% ⇒ 100%	点検及び指導を行った特別支援学級の割合								
			【特筆事項】									
1-3-3 特別支援学級、通常の学級における指導の充実	学校教育課	通級指導教室の教育課程編成の指導	効果的で適切な通級指導教室が行われるよう、通級指導教室において編成される教育課程について点検及び指導を行いました。		1.5		1.0	1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			100% ⇒ 100%	点検及び指導を行った通級指導教室の割合								
			【特筆事項】									

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-3-4 幼稚園・ 保育所・ 小中学校、関係 機関との 連携の充実	学校教育課	中学校区ごとの特別支援連絡会議	特別支援教育に係る、幼保小中及び教育と福祉等の関係機関との連携を深め、障がいのある児童生徒への支援体制の構築を図るとともに、特別支援教育連携体制の整備・充実に資する会議を行いました。		1.5		1.0	2.0	4.5	4.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			【特筆事項】 中学校区ごとの特別支援連絡会議が、昨年度よりも多く開催されるなど、特別支援教育に係る幼保小中及び教育と福祉等の関係機関との連携が深まり、障がいのある児童生徒への支援体制づくりが進んだ。また、本課特別支援教育係の職員が可能な限り会議に出席することで、連携の推進を図った。									

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 4 体力の向上

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S・・・4.5点以上 A・・・4.0～4.4点 B+・・・3.5～3.9点 B・・・3.0～3.4点 C・・・2.9点以下
B ⁺	3.5	7.0	2	

施策推進のための管理指標の状況

指標	小学生が1週間あたり3日以上運動やスポーツを行った割合 【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	男女共に、低学年・中学年の運動やスポーツの実施が低いことが原因であると考えられる。小学校体育活動研究推進校を1校設け、成果の周知を図る。	男子 59.0% 女子 33.7%	男子 42.8% 女子 25.8%	男子 41.8% 女子 25.3%	-	-	男子 75.0% 女子 55.0%
指標	中学生が1週間あたり3日以上運動やスポーツを行った割合 【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	男女共に、運動部活動を中心に、運動やスポーツの実施がなされているが、部活動に未所属の生徒の加入を促すための手立てなど、部活動に関する学校訪問において助言している。	男子 88.6% 女子 64.9%	男子 86.2% 女子 63.8%	男子 86.1% 女子 64.2%	-	-	男子 90.0% 女子 70.0%

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-4-1 学校体育の充実	学校教育課	学校体育振興事業	小学校陸上競技大会及び県・九州・全国中学校体育大会等に参加する生徒に対して、派遣費等の補助を行いました。	1.0			1.5	1.0	3.5	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			351人 ⇒ 447人	九州中学校体育大会・全国中学校体育大会の参加選手数								
【特筆事項】												
1-4-2 中学校運動部活動の充実	学校教育課	中学校部活動に係る学校訪問	全中学校を訪問し、部活動に関する運営・活動状況を確認し、必要に応じ、指導・助言を行いました。		1.5		1.0	1.0	3.5	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			25校 ⇒ 25校	事業を実施した学校数								
【特筆事項】												

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 5 学校保健活動の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S……4.5点以上 A……4.0～4.4点 B+……3.5～3.9点 B……3.0～3.4点 C……2.9点以下
B	3.4	20.3	6	

施策推進のための管理指標の状況

指標	12歳児平均むし歯本数(中学1年生)【保健給食課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	歯磨きや甘味料の摂取指導に加え、フッ化物洗口 ^{*10} の実施によりむし歯本数が減少している。	0.99本	0.95	0.82	-	-	1.0本未満
指標	アナフィラキシー ^{*11} 対応緊急時マニュアルの作成学校数【保健給食課】	H24	当初値 H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	マニュアル作成に取り組む学校が増加している。	※	13校	50校	-	-	73校

※アナフィラキシー対応緊急時マニュアルの作成は、平成25年度から取り組んでいる。

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-5-1 児童生徒および教職員の健康診断の実施	保健給食課	学校保健安全事業	児童生徒の疾病の早期発見及び事後措置、健康保持を目的として、健康診断及び健康相談を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	6.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			⇒									
【特筆事項】												
1-5-1 児童生徒および教職員の健康診断の実施	保健給食課	教職員健康診断事業	教職員の健康診断を実施し、総合的な判定に基づく治療指示等を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			⇒									
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-5-2 学校環境衛生検査の充実	保健給食課	学校保健安全事業	学校のプール水、飲料水検査など環境衛生に関する様々な検査を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			/ → /									
【特筆事項】												
1-5-3 思春期健康教育の推進	保健給食課	思春期健康教育講師派遣事業	性に関する正しい知識や情報を伝えるため、助産師を講師として派遣しました。	1.0			1.5	1.0	3.5	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			160人 ⇒ 158人	助産師の延べ派遣人数								
【特筆事項】												
1-5-4 フッ化物応用の推進	保健給食課	学校フッ化物応用*12事業	児童生徒のむし歯予防と歯質強化を図るため、フッ化物洗口を実施しました。	1.0			1.8	2.0	4.8	4.8		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			29,500人 ⇒ 28,741人	フッ化物洗口への参加児童・生徒数								
【特筆事項】 参加者は、目標に達していないが、むし歯本数が減少しているため、自己評価を2.0とした。												
1-5-5 アナフィラキシーへの対応に関する体制づくりの推進	保健給食課	学校保健安全事業	アナフィラキシー対応緊急時マニュアル作成の要請を行いました。		1.0		1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			73校 ⇒ 50校	アナフィラキシー対応緊急時マニュアル作成校数								
【特筆事項】 各学校のマニュアルを作成していない学校については、国の「学校給食における食物アレルギー対応指針」に基づいて対応している。												

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 6 地域の歴史に対する認識の向上

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S・・・4.5点以上 A・・・4.0～4.4点 B+・・・3.5～3.9点 B・・・3.0～3.4点 C・・・2.9点以下
B	3.4	13.5	4	

施策推進のための管理指標の状況

指標 1	出前授業実施件数【文化財課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	出前授業の実施件数は減少しており、目標値に達していない。今年度の小中学校社会科担当者研修の際に、アンケートを実施したところ、授業時間の確保の困難さが主な理由として挙げられた。出前授業は、短時間でも利用できる制度であるため、その点を今後、研修や校長会などでアピールし、利用促進に努めたい。	23件	20件	18件	-	-	40件

施策の 方向性	担当 課	関連事業等の 名 称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
1-6-1 郷土の歴史学習の 推進	文化財課	郷土の歴史学習推進事業	文化財課職員による郷土の歴史・文化財に関する出前授業を実施しました。	1.0			1.5	0.5	3.0	10.5		
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			40件 → 18件	出前授業の実施件数								
			【特筆事項】 出前授業の実施件数は、H25、H26と減少しているため、③自己評価を0.5とした。									
1-6-1 郷土の歴史学習の 推進	文化財課	埋蔵文化財保存活用事業	発掘調査による成果を市民に周知することにより、史跡や埋蔵文化財の利活用を図りました。	1.0			1.0	2.0	4.0			
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			15件 → 17件	講座イベント実施件数								
			【特筆事項】 文化財の認知度を高めるために、地元の祭りや大型ショッピングモールでのイベントを行った。結果、前年度を大きく上回る来場者が有り、中でもショッピングモールでは1日で約3000人が古代体験型イベントに参加した。									

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-6-1 郷土の歴史学習の推進	文化財課	民俗芸能伝承事業	民俗芸能の保存、後継者育成のため、民俗芸能登録団体への助成のほか、「みやざき民俗芸能まつり」を開催しました。	1.0			1.5	1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			63団体 ⇒ 53団体	民俗芸能登録団体に対する助成の実数								
			【特筆事項】									
1-6-2 郷土が生んだ偉人について学ぶ学習の推進	生涯学習課	高木兼寛顕彰事業	郷土の偉人高木兼寛の遺徳を偲び、偉大な精神を伝え残すため、顕彰会への支援や特別大使の派遣を行いました。また、高木兼寛賞として、小学6年生を対象に作文募集し、入賞者を表彰しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			3,800人 ⇒ 4,046人	派遣された中学校ごとの報告会に参加した生徒の合計人数								
			【特筆事項】									

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 7 キャリア教育の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S・・・4.5点以上 A・・・4.0～4.4点 B+・・・3.5～3.9点 B・・・3.0～3.4点 C・・・2.9点以下
B ⁺	3.5	7.0	2	

施策推進のための管理指標の状況

指標 1	キャリア教育の全体計画・年間指導計画を作成する学校数 【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	キャリア教育の全体計画を全ての学校が作成し、キャリア教育の充実を図っている。	25校	25校	73校	-	-	73校

施策の 方向性	担当 課	関連事業等の 名 称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計
				有り	無し	ハード	ハード 以外			
1-7-1 キャリア 教育に関 する指導 体制の整 備	学 校 教 育 課	職 場 体 験 学 習 「 夢 ワ ー ク 2 1 」 推 進 事 業	中学2年生が地域の事業所 (商店、飲食店、農家、ホテル、 行政機関など)において、主体 的な体験活動を実施すること で、地域の教育力を生かしなが ら生徒に「豊かな心」や「生きる 力」を育む教育活動の充実を図 りました。	1.5			1.0	1.0	3.5	3.5
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			1,000事業所 ⇒ 1,118事業所	職場体験学習実施事業所数						
			【特筆事項】							
1-7-2 実践的な キャリア 教育の充 実	学 校 教 育 課	職 場 体 験 学 習 「 夢 ワ ー ク 2 1 」 推 進 事 業	計画的・系統的にキャリア教 育を進めることができるよう、各 学校でキャリア教育に関する年 間指導計画を作成し、それを活 用しながら具体的な教育実践の 充実を図りました。		1.5		1.0	1.0	3.5	3.5
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			25校 ⇒ 25校	年間指導計画作成と実践の学校数						
			【特筆事項】							

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 8 国際理解教育の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S・・・4.5点以上 A・・・4.0～4.4点 B+・・・3.5～3.9点 B・・・3.0～3.4点 C・・・2.9点以下
B ⁺	3.5	7.0	2	

施策推進のための管理指標の状況

指標 1	小学校からの外国語活動や中学校英語教育における保護者の満足度 【学校教育課】【教育情報研修センター】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	小学校外国語講師及びALT ^{*13} を派遣し、支援を行っている。	67.5%	※	※	-	-	100%

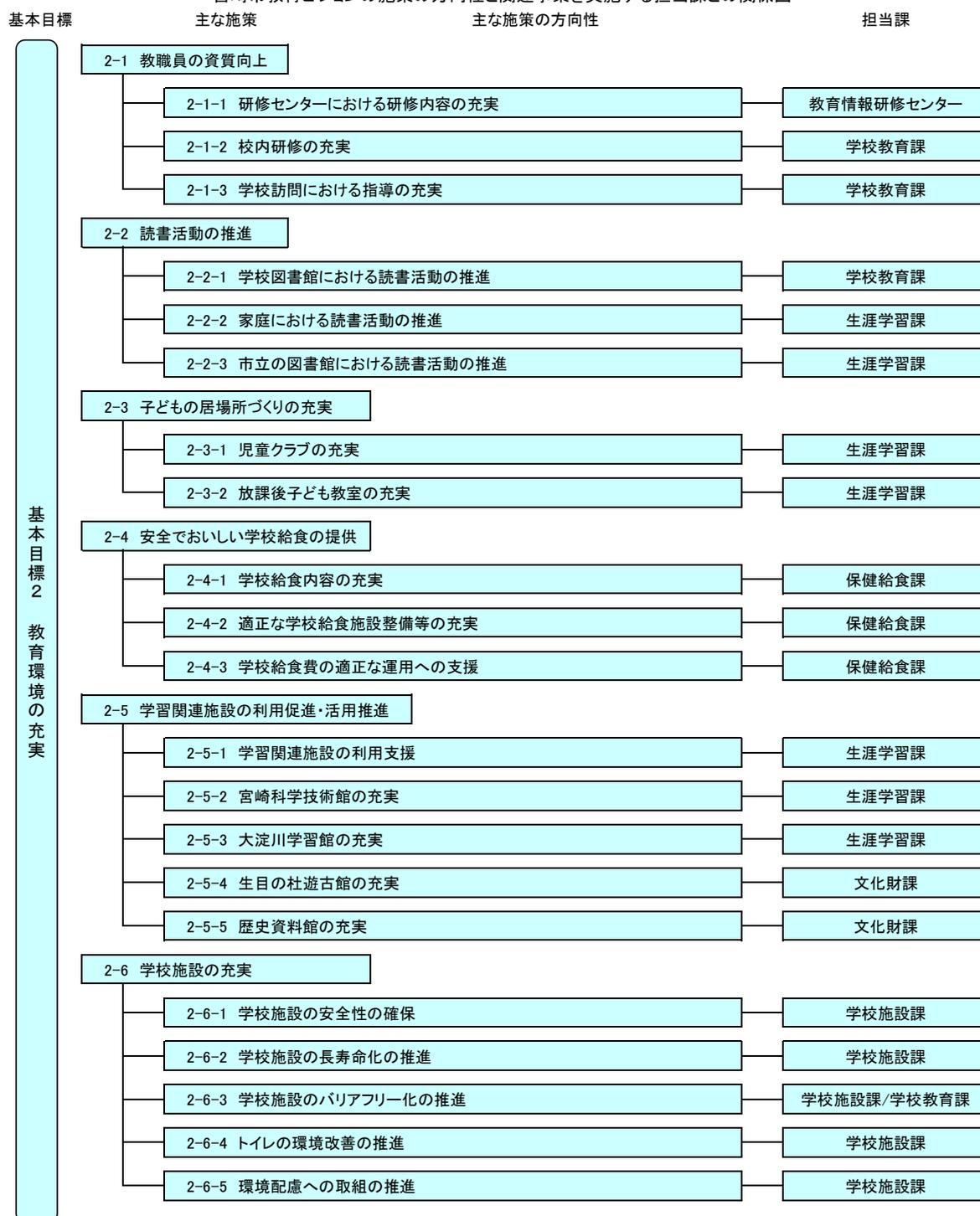
※アンケート未実施 最終年度に行う。

施策の 方向性	担当 課	関連事業等の 名 称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計
				有り	無し	ハード	ハード 以外			
1-8-1 小学校における外国語活動の充実	教育情報研修センター	小学校外国語活動推進事業	小学校段階から英語や外国の文化に触れたり、体験したりすることにより、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や豊かな国際感覚を身に付けた児童を育成しました。	1.0			1.5	1.0	3.5	3.5
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			/ → /							
【特筆事項】										
1-8-2 中学校における外国語教育の充実	教育情報研修センター	外国人講師(ALT)招致事業	外国語指導助手を中学校に派遣し、中学校における英語教育の向上と国際性豊かな生徒を育成しました。	1.0			1.5	1.0	3.5	3.5
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			64% ⇒ 74%	英語検定3級の合格率						
【特筆事項】										
1-8-3 国際交流活動支援の充実	教育情報研修センター									
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			/ → /							
【特筆事項】 現在は企画財政部が国際交流活動支援の充実に関する事業を行っており、教育情報研修センターはその支援という位置づけであるため、評価の対象外とする。										

(5) 基本目標別事務事業の点検・評価シート3

(イ) 基本目標2 教育環境の充実

宮崎市教育ビジョンの施策の方向性と関連事業を実施する担当課との関係図



基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 1 教職員の資質向上

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S・・・4.5点以上 A・・・4.0～4.4点 B+・・・3.5～3.9点 B・・・3.0～3.4点 C・・・2.9点以下
B ⁺	3.5	14.0	4	

施策推進のための管理指標の状況

指標	研修受講生アンケートにおける満足度調査【教育情報研修センター】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	講座数、研修内容等は、アンケート等を元に毎年見直し、教育的課題やニーズに応じた内容になるよう改善している。	96%	96%	97%	-	-	97%

施策の 方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
2-1-1 研修セン ターにお ける研修 内容の充 実	教育情 報研修 センタ ー	教職員研修運 営事業	宮崎市教育情報研修センターにおける教職員への研修内容を充実させ、ニーズに応じた研修講座の開設や内容の創意工夫を推進し、教職員の資質向上や実践的な指導力を高めました。	1.0			1.5	1.0	3.5	8.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			97% ⇒ 97%	研修参加教職員の満足度の割合								
【特筆事項】												
2-1-1 研修セン ターにお ける研修 内容の充 実	教育情 報研修 センタ ー	教育講演会開 催事業	教職員としての見識を広め、教育的課題や地域の教育的ニーズに対応できる資質や能力の向上を図るために、優れた研究者や実践家等を招聘して講演会を行いました。	1.0			1.5	2.0	4.5	8.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			1,750人 ⇒ 3,207人	教育講演会の参加教職員数								
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計
				有り	無し	ハード	ハード以外			
2-1-2 校内研修の充実	学校教育課	就学前教育に係る幼稚園訪問	市立幼稚園を訪問し、指導・活動内容を確認し、必要に応じ、指導・助言を行いました。		1.0		1.0	1.0	3.0	3.0
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			⇒							
【特筆事項】										
2-1-3 学校訪問における指導の充実	学校教育課	学校訪問(計画訪問)	市内小中学校の教育水準の維持向上と学校の適正な経営管理を目指すとともに、教職員の研修と教育指導の一層の充実を図り、学校の教育機能を高めるために計画的に学校訪問を実施しました。		1.0		1.0	1.0	3.0	3.0
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			⇒							
【特筆事項】										

基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 2 読書活動の推進

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S・・・4.5点以上 A・・・4.0～4.4点 B+・・・3.5～3.9点 B・・・3.0～3.4点 C・・・2.9点以下
B	3.1	40.5	13	

施策推進のための管理指標の状況【学校図書館における読書活動の推進】

指標		当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
指標1	学校図書館を活用した授業に取り組んでいる学校数【学校教育課】						
進捗状況	学校図書館を活用した授業に取り組んでおり、概ね良好である。	32校	※1	※1	-	-	73校
指標2	蔵書率 ^{*14} 100%の小学校数【学校教育課】						
進捗状況	平成24年度より3校増加しており良好である。	39校	42校	※2	-	-	48校
指標3	蔵書率100%の中学校数【学校教育課】						
進捗状況	蔵書率100%を維持するために、図書の購入と廃棄を計画的に行うよう指導している。	13校	13校	※2	-	-	25校

施策推進のための管理指標の状況【家庭及び地域(市立の図書館)における読書活動の推進】

指標		当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
指標1	ブックスタート事業における絵本の配付率【生涯学習課】						
進捗状況	7～8ヶ月児健康診査時に合わせて実施することで、高い配付率を保たれている。	92.5%	92.8%	92.9%	-	-	97.0%
指標2	市立の図書館における貸出冊数【生涯学習課】						
進捗状況	平成25年度は、システム更新により貸出できない期間があったため減少しているが、ほぼ横ばい状態となっている。	107万冊	100万冊	106万冊	-	-	113万冊

※1 学校司書配置校については、平成27年度から調査予定。

※2 文部科学省による「学校図書館の現状に関する調査」が、平成27年10月以降に実施予定。

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-2-1 学校図書館における読書活動の推進	学校教育課	学校司書 ^{*15} 配置事業	学校図書館に現在配置されている読書活動アシスタントに替えて、司書資格を持った学校司書を小学校に配置しました。	1.5			1.5	1.0	4.0	16.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			14.6冊 ⇒ 16冊	小学校読書量(一か月あたりの平均)								
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計	
				有り	無し	ハード	ハード以外				
2-2-1 学校図書館における読書活動の推進	学校教育課	読書活動アシスタント派遣事業	児童生徒の図書館教育・読書活動の一層の推進を図るため、読書活動アシスタントを小学校12校、中学校25校に各1名ずつ派遣しました。	1.0			1.5	1.0	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			3.5冊 ⇒ 4冊	中学校読書量(一か月あたりの平均)							
【特筆事項】											
2-2-1 学校図書館における読書活動の推進	学校教育課	学校図書館訪問	豊かな心を育む「読書センター」としての学校図書館の機能充実を図るため、学校図書館支援アドバイザーが学校図書館を訪問し、学校図書館の管理運営の支援を行いました。		1.0		1.0	1.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			△ ⇒ △								
【特筆事項】											
2-2-1 学校図書館における読書活動の推進	学校教育課	学校司書及び読書活動アシスタント研修会事業	「学習・情報センター」としての学校図書館の機能充実を図るため、学校司書及び読書活動アシスタントの研修を実施しました。		1.0		1.0	1.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			△ ⇒ △								
【特筆事項】											
2-2-1 学校図書館における読書活動の推進	生涯学習課	図書館ネットワーク事業	市立小中学校とネットワークを構築し図書館資料等の効率的な提供を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			10,000冊 ⇒ 9,147冊	宮崎市立図書館からリクエスト申込みをした公立小中学校への配本冊数							
【特筆事項】											

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-2-2 家庭における読書活動の推進	生涯学習課	ブックスタート事業	7～8か月児健康診査時に小児科医から保護者に、子ども絵本のふれあい等の大切さを説明してもらい、絵本を配付しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	12.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			95% ⇒ 92.9%	配付率(配付人数/対象者数×100)								
		【特筆事項】										
2-2-2 家庭における読書活動の推進	生涯学習課	市立図書館管理運営費	市立図書館のホームページ・広報誌などを通じ、保護者に対して読書に関する情報提供を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
		【特筆事項】										
2-2-2 家庭における読書活動の推進	生涯学習課	佐土原図書館管理運営費	図書館ホームページや広報誌などを通して、保護者に対して読書に関する情報提供を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
		【特筆事項】										
2-2-2 家庭における読書活動の推進	生涯学習課	市立図書館業務NPO委託業務	市立図書館のホームページ・広報誌などを通じ、保護者に対して読書に関する情報提供を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
		【特筆事項】										

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-2-3 市立の図書館における読書活動の推進	生涯学習課	市立図書館管理運営費	図書資料の整備充実及び市民への読書普及を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0	12.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			⇒									
		【特筆事項】										
2-2-3 市立の図書館における読書活動の推進	生涯学習課	佐土原図書館管理運営費	地域に親しまれる図書館づくりに努めました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			⇒									
		【特筆事項】										
2-2-3 市立の図書館における読書活動の推進	生涯学習課	市立図書館業務NPO委託業務	土曜シアター、日曜映画会、おはなし会など、子どもたちが楽しみながら読書に触れる行事を開催しました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			⇒									
		【特筆事項】										
2-2-3 市立の図書館における読書活動の推進	生涯学習課	図書館ネットワーク事業	市立小中学校、公立公民館等とのネットワークを構築し、図書館資料等の効率的な提供を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			10,000冊 ⇒ 9,147冊	宮崎市立図書館からリクエスト申込みをした公立小中学校への配本冊数								
		【特筆事項】										

基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 3 子どもの居場所づくりの充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S・・・4.5点以上 A・・・4.0～4.4点 B+・・・3.5～3.9点 B・・・3.0～3.4点 C・・・2.9点以下
B	3.3	13.3	4	

施策推進のための管理指標の状況

指標	児童クラブ総定員数【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	H29目標値に対し、総定員数達成率93.2%である。	2,437名	2,482名	2,552名	-	-	2,737名
指標	児童クラブ待機児童 ^{*16} 数【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	申請者数の増に伴い、待機者数も増加傾向にある。H29目標値に向け、今後も定員拡大を図る。	73名	145名	178名	-	-	0名

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-3-1 児童クラブの充実	生涯学習課	児童クラブ運営事業	保護者の就労等により放課後に家庭で面倒を見ることができない小学校低学年児童を対象に、適切な遊びと生活の場を提供しました。	1.0			1.5	1.0	3.5	10.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			2,482人 ⇒ 2,552人	児童クラブ総定員数								
【特筆事項】												
2-3-1 児童クラブの充実	生涯学習課	きよたけ児童クラブ施設指定管理料	宮崎市きよたけ児童クラブ施設の管理運営を指定管理者に委託しました。 指定管理者: 宮崎市社会福祉協議会・NPO法人みやざき子ども文化センター 共同体	1.0			1.0	1.0	3.0	10.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			90人 ⇒ 90人	児童クラブ総定員数								
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-3-1 児童クラブの充実	生涯学習課	児童クラブ施設整備事業 児童クラブ環境整備事業	待機児童の解消を図るため、小学校内施設との共有化により定員を拡大しました。また、小学校外の児童クラブに通っていた児童の安全確保のため、小学校内施設を改修し児童クラブを設置しました。	1.5		1.0		1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
【特筆事項】												
2-3-2 放課後子ども教室の充実	生涯学習課	放課後子ども教室推進事業	放課後や週末等に学校や公民館を活用し、子どもに安全で安心できる活動拠点を提供しました。	1.5			0.8	1.0	3.3	3.3		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			31箇所 ⇒ 27箇所	教室実施箇所数								
【特筆事項】 成果指標を下回っているが、平均参加者人数が平成25年度実績を上回っているため、自己評価を1.0とした。												

基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 4 安全でおいしい学校給食の提供

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S・・・4.5点以上 A・・・4.0～4.4点 B+・・・3.5～3.9点 B・・・3.0～3.4点 C・・・2.9点以下
B ⁺	3.5	10.5	3	

施策推進のための管理指標の状況

指標	学校給食における地場産物の使用割合【保健給食課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	使用割合は、伸び悩んでいるため、関連各課(団体)と協議を進めている。	39.8%	40.5%	39.8%	-	-	45%
指標	学校給食費未納状況(収納率)【保健給食課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	収納率は、高い水準を維持している。	99.84%	99.86%	99.87%	-	-	100%

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計	
				有り	無し	ハード	ハード以外				
2-4-1 学校給食内容の充実	保健給食課	献立作成委員会 食育推進事業 (学校給食用 廃油リサイクル 交付金)	献立作成委員会を実施し、栄養教諭・学校栄養職員を中心に、季節感のある食材を用いた料理を提供し、児童生徒の食体験や味覚の幅を広げました。また廃油交付金を給食の食材費会計に還元させ、地場産物の購入を促進しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
【特筆事項】											
2-4-2 適正な学校給食施設整備等の充実	保健給食課	学校給食施設 設備維持管理 事業 清武学校給食 センター施設 整備事業	学校給食は、国の衛生管理基準に適合した施設設備で、給食を提供しなければならない。そのため施設や機器の老朽化による衛生環境の改善を常に行う必要があり、そのため必要な施設の改修や機器の更新を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			0件 ⇒ 0件	食中毒の発生件数							
【特筆事項】											

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-4-3 学校給食費の適正な運用への支援	保健給食課	学校給食費未納対策推進事業	学校給食の円滑な実施と公平な保護者負担のため、学校給食費の未納解消に努めました。	1.0			1.5	2.0	4.5	4.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			100% ⇒ 99.87%	学校給食費収納率								
【特筆事項】 高い収納率を維持しながら、確実に前年度より実績が向上しているため、自己評価を2.0とした。												

基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 5 学習関連施設の利用促進・活用推進

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S……4.5点以上 A……4.0～4.4点 B+……3.5～3.9点 B……3.0～3.4点 C……2.9点以下
B	3.1	27.5	9	

施策推進のための管理指標の状況

指標	内容	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
指標1	宮崎科学技術館入館者による満足度数【生涯学習課】						
進捗状況	展示物の更新等については、館と協議し、実施しているところであり、職員の対応については、資質向上を図るため、各種研修等を実施している。	81.6%	83.2%	83.5%	-	-	100%
指標2	学習関連施設入館者数【生涯学習課】【文化財課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	科学技術館はH24年比約106%、大淀川学習館はH24年比約109%で、目標値を既に上回っている状況。今後も既存イベントを検証しながら、新規イベントを実施し、入館者増を図っていく。 文化財課所管分について、平成26年度の入館者数は、前年度比16,497人の減となっている。主な要因としては、夏に実施した企画展入場者の減少等により、みやざき歴史文化館が14,500人の減少となったことがあげられる。	460,824 人	465,948 人	481,754 人	-	-	486,000 人

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-5-1 学習関連施設の利用支援	生涯学習課	施設学習支援事業	市内教育文化施設と学校間の移動手段を確保し、校外学習の充実を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			3,500人 ⇒ 3,202人	施設学習支援事業に参加した児童数								
【特筆事項】												
2-5-2 宮崎科学技術館の充実	生涯学習課	文化振興協会運営費助成事業	(公財)宮崎文化振興協会の運営の安定を図るための運営費の助成を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	9.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			△ ⇒ △									
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計
				有り	無し	ハード	ハード以外			
2-5-2 宮崎科学技術館の充実	生涯学習課	科学技術館指定管理料	(公財)宮崎文化振興協会を指定管理者に指定し、館の円滑な運営を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			175,000人 ⇒ 153,621人	宮崎科学技術館の利用者数						
		【特筆事項】 平成26年度は、前年度より15,162人増の153,621人が利用したが、目標値に達しなかったため自己評価を1.0とした。								
2-5-2 宮崎科学技術館の充実	生涯学習課	科学技術館管理運営事業	宮崎科学技術館の展示物改修及びプラネタリウムの保守点検に要する経費を支出しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			/ ⇒ /							
		【特筆事項】								
2-5-3 大淀川学習館の充実	生涯学習課	大淀川学習館指定管理料	(公財)宮崎文化振興協会を指定管理者に指定し、館の円滑な運営を図りました。	1.0			1.5	1.0	3.5	3.5
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			150,000人 ⇒ 183,653人	大淀川学習館の利用者数						
		【特筆事項】								
2-5-4 生目の杜遊古館の充実	文化財課	生目の杜遊古館管理運営事業	生目古墳群や市内の遺跡に関する学習の場を提供するとともに、宿泊型の体験学習施設として、施設の適切な管理運営を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	6.0
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			43,500人 ⇒ 39,668人	遊古館入館(利用)者数						
		【特筆事項】 遊古館施設周知のために看板を設置したり、2箇所に分れていた事務所職員を一箇所にまとめ、管理運営の効率化を図った。								

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計
				有り	無し	ハード	ハード以外			
2-5-4 生目の杜遊古館の充実	文化財課	生目古墳群史跡公園整備事業	国指定史跡「生目古墳群」を含む22haの敷地を史跡公園として公開しながら、古墳の発掘調査及び周辺整備を実施しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			⇒							
【特筆事項】										
2-5-5 歴史資料館の充実	文化財課	歴史資料館指定管理料	みやざき歴史文化館、佐土原歴史資料館、天ヶ城歴史民俗資料館の管理運営を、指定管理者である(公財)宮崎文化振興協会に委託し、円滑な運営を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	6.0
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			93,000人 ⇒ 94,381人	歴史資料館3館の入場者数						
【特筆事項】										
2-5-5 歴史資料館の充実	文化財課	きよたけ歴史館管理運営事業	きよたけ歴史館(歴史資料館、埋蔵文化財センター、茶室「香梅庵」)をそれぞれの特性に合わせ、適切に管理運営を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			9,000人 ⇒ 10,431人	きよたけ歴史館の入場者数						
【特筆事項】										

基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 6 学校施設の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S・・・4.5点以上 A・・・4.0～4.4点 B+・・・3.5～3.9点 B・・・3.0～3.4点 C・・・2.9点以下
B ⁺	3.5	35.0	10	

施策推進のための管理指標の状況

指標 1	トイレの洋式化率【学校施設課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	概ね計画どおり整備が進んでいる。	27.1%	28.8%	31.0%	-	-	32.0%

施策の 方向性	担当 課	関連事業等の 名 称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
2-6-1 学校施設 の安全性 の確保	学校 施設課	小中学校屋内 運動場天井材 落下防止対策 事業	地震の揺れによる屋内運動場の天井材等の落下防止対策の調査、設計を行いました。	1.5		1.0		1.0	3.5	10.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			5校 ⇒ 5校	実施校								
			【特筆事項】 平成26年度は調査・設計を行い、平成27年度に工事を実施する。									
2-6-1 学校施設 の安全性 の確保	学校 施設課	小中学校校舎 外壁落下防止 対象事業	老朽化した校舎の外壁モルタル等の落下防止対策を行いました。	1.0		1.5		1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			7校 ⇒ 7校	実施校								
			【特筆事項】									

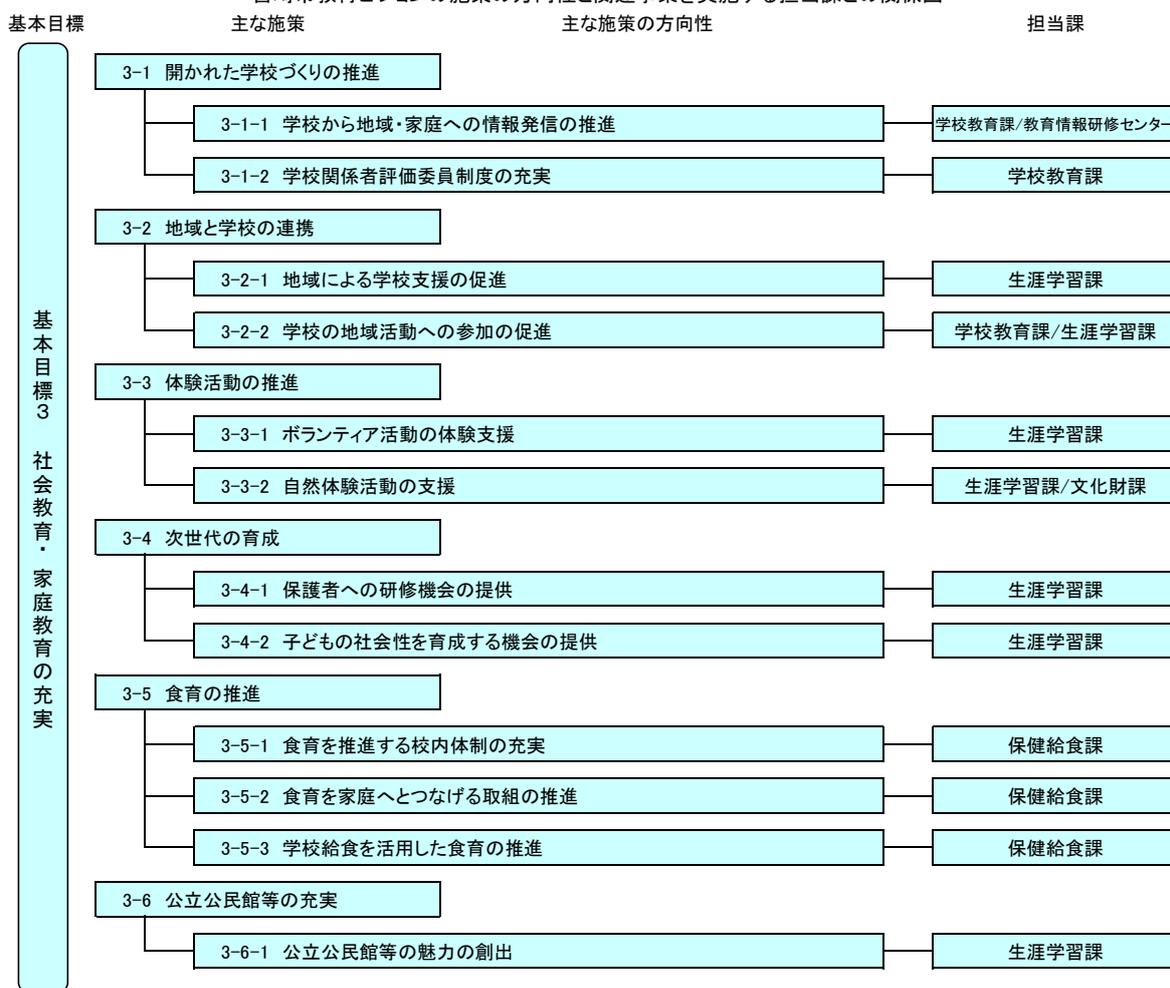
施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-6-1 学校施設の安全性の確保	学校施設課	学校施設の定期点検	学校敷地内にある建築物等の適切な改善、維持保全を行うため、技術者が点検しました。		1.0		1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			⇒									
【特筆事項】 各校3年に1回の施設点検を実施。平成26年度は23校を点検した。												
2-6-2 学校施設の長寿命化の推進	学校施設課	中学校屋内運動場大規模改造事業	老朽化した屋内運動場の内外部を抜本的に改修するための調査、設計を行いました。	1.5		1.0		1.0	3.5	10.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			1校 ⇒ 1校	実施校								
【特筆事項】 平成26年度は調査・設計を行い、平成27年度に工事を実施する。												
2-6-2 学校施設の長寿命化の推進	学校施設課	小中学校校舎屋根防水改修事業	老朽化した校舎の屋根防水を全面的に改修しました。	1.0		1.5		1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			7校 ⇒ 7校	実施校								
【特筆事項】												
2-6-2 学校施設の長寿命化の推進	学校施設課	小中学校屋内運動場屋根防水改修事業	老朽化した屋内運動場の屋根防水を全面的に改修しました。	1.0		1.5		1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			3校 ⇒ 3校	実施校								
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-6-3 学校施設のバリアフリー化の推進	学校教育課	特別支援教育バリアフリー化整備事業	下肢等に障がいのある児童生徒が安心・安全で円滑な学校生活を送れるよう、必要なトイレの改修や段差解消等のハード面の整備を行いました。	1.0		1.5		1.0	3.5	7.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			15件 ⇒ 18件	バリアフリー化整備箇所								
【特筆事項】												
2-6-3 学校施設のバリアフリー化の推進	学校施設課	小中学校バリアフリー整備推進事業	学校施設の段差解消や多目的トイレの設置を行いました。	1.5		1.5		1.0	4.0	4.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			8校 ⇒ 8校	実施校								
【特筆事項】												
2-6-4 トイレの環境改善の推進	学校施設課	小中学校トイレ改修事業	老朽化したトイレの内装、設備機器、配管等を全面的に改修するための設計をしました。また、洋式化を進めるとともに、設計においては、ワークショップを活用し、使用者である児童生徒の意見を取り入れました。	1.5		1.5		1.0	4.0	4.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			4校 ⇒ 4校	実施校								
【特筆事項】 平成26年度は設計を行い、平成27年度に工事を実施する。												
2-6-5 環境配慮への取組の推進	学校施設課	環境に配慮した設計や機器等の選定	改修事業や、施設の維持管理等において、環境に配慮した設計や省エネ型の設備機器等の選定を行いました。		1.0		1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			△ ⇒ △									
【特筆事項】 照明器具等の不良箇所等を改修する際には、省エネ型の照明機器に取り替えるなど環境に配慮した設計や設備機器等の選定を推進している。												

(5) 基本目標別事務事業の点検・評価シート3

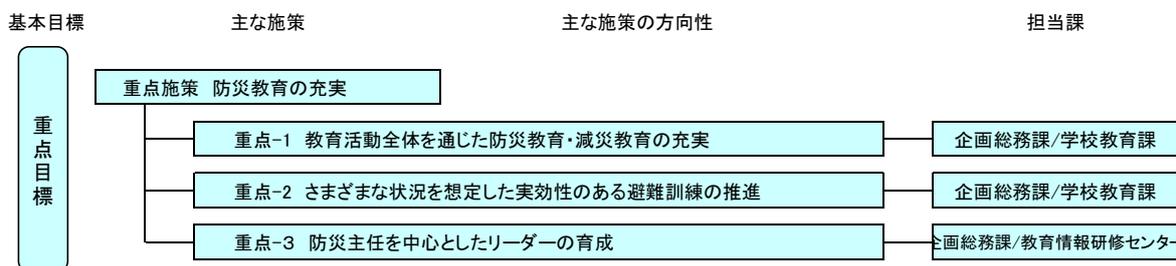
(ウ) 基本目標3 社会教育・家庭教育の充実

宮崎市教育ビジョンの施策の方向性と関連事業を実施する担当課との関係図



(エ) 重点目標 防災教育の充実

宮崎市教育ビジョンの施策の方向性と関連事業を実施する担当課との関係図



基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実

主な施策 1 開かれた学校づくりの推進

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S……4.5点以上 A……4.0～4.4点 B+……3.5～3.9点 B……3.0～3.4点 C……2.9点以下
B	3.3	10.0	3	

施策推進のための管理指標の状況

指標 1	「学校の情報を保護者や地域に伝える取組」についての保護者満足度 【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	各学校のホームページ等に学校評価を含めた学校の教育活動等を公表し、保護者や地域に対し開かれた学校づくりを行っている。	81.5%	※	※	-	-	100%

※アンケート未実施 最終年度に行う。

施策の 方向性	担当 課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
3-1-1 学校から 家庭・地 域への情 報発信の 推進	学 校 教 育 課	学校における 教育活動の地 域への発信	各学校のホームページ等に学 校評価を含めた学校の教育活 動等を公表しました。		1.0		1.0	1.0	3.0	6.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			⇒									
【特筆事項】 全ての学校において、学校評価については、ホームページで公表しているが、文書やホーム ページを活用した情報の発信については、改善の余地がある。												
3-1-1 学校から 家庭・地 域への情 報発信の 推進	教 育 情 報 研 修 セ ン タ ー	小中学校コン ピュータ推進 事業	学校ホームページの充実によ り、学校内の教育活動等に関す る情報を積極的に発信し、学校 と地域・家庭との情報の共有化 と相互理解に努めました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			73校 ⇒ 73校	ホームページ開設校数								
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
3-1-2 学校関係者評価委員制度の充実	学校教育課	地域による学校評価推進事業	市民に教育の質を保証し、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進するために、25の各中学校区において学校関係者評価委員*17による学校評価を実施しました。	1.0			1.0	2.0	4.0	4.0		
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			73校 ⇒ 73校	学校評価によって教育活動の改善が図られた学校数								
			【特筆事項】 全ての学校において、重点目標を設定し、その目標に対する自己評価及び学校関係者評価が行われた。その評価を受け、地域に開かれた学校づくりを目指した教育活動の改善が図られた。									

基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実

主な施策 2 地域と学校の連携

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S……4.5点以上 A……4.0～4.4点 B+……3.5～3.9点 B……3.0～3.4点 C……2.9点以下
B	3.3	13.0	4	

施策推進のための管理指標の状況

指標	学校支援ボランティアの人数【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	指定校に学校支援コーディネーターを配置し、地域住民が学校支援ボランティアとして学校に参加しやすい環境と体制づくりを行っている。	11,963人	9,729人	10,602人	-	-	17,200人
指標	地域の行事に参加している小学生【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	H24当初値より微減している。子どもたちにいろいろな機会を利用して地域行事への参加を促している。	71.4%	70.1%	70.5%	-	-	100%
指標	地域の行事に参加している中学生【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	H24当初値より4%上がっている。子どもたちにいろいろな機会を利用して地域行事への参加を促している。	38.9%	38.6%	42.9%	-	-	100%

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
3-2-1 地域による学校支援の促進	生涯学習課	地域と学校の連携による教育支援活動促進事業	学校と地域自治区との連携体制を構築し、双方の協力を促進するため学校支援コーディネーターを配置しました。	1.5			1.0	1.0	3.5	10.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			24分野 ⇒ 20分野	指定校における学校支援ボランティアの活動分野数								
【特筆事項】												
3-2-1 地域による学校支援の促進	生涯学習課	夢創り人活性化事業	生涯学習ボランティア指導者の育成とボランティア相互の交流や連携を促進し、市民の自発的な学習活動の充実を図りました。	1.0			1.5	1.0	3.5	10.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			200回 ⇒ 240回	市民出前講座実施回数								
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
3-2-1 地域による学校支援の促進	生涯学習課	ふるさと文化学習支援事業	体験学習や心の交流を通して、児童生徒の「豊かな表現力」「主体性」「郷土愛」を醸成することにより、児童生徒の持つ無限の可能性を引き出すことを目的として実施しました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			300コマ ⇒ 259コマ	実施授業数								
			【特筆事項】									
3-2-2 学校の地域活動への参加の促進	学校教育課	ふるさと教育合同穆園学習事業	高岡地区の4つの小中学校が合同学習会を開催することにより、ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持たせる教育活動を推進しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			4校 ⇒ 4校	合同穆園学習参加校数。								
			【特筆事項】									

基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実

主な施策 3 体験活動の推進

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	
B	3.0	9.0	3	S……4.5点以上 A……4.0～4.4点 B+……3.5～3.9点 B……3.0～3.4点 C……2.9点以下

施策推進のための管理指標の状況

指標 1	自然体験活動参加者数【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	チラシを配布する等、積極的に事業の告知や周知を行うことで、参加者数の増加に取り組んでいる。	3,053 人	4,522 人	4,185 人	-	-	5,000 人

施策の 方向性	担当 課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策 の方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
3-3-1 ボランティア活動の 体験支援	生涯 学習課	子ども体験ボ ランティア活動 支援事業	小中学生に各種行事を通してボランティア活動支援を実施しました。	1.0			1.0	0.5	2.5	2.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			60人 ⇒ 48人	読み聞かせボランティアを体験した小中学生及び障がい者スポーツ大会にボランティアスタッフとして参加した小学生の人数								
【特筆事項】 平成26年度は学校の行事が重なったことにより、成果指標(参加人数)が例年を下回ったため自己評価を0.5としたが、参加者へのアンケート結果からは高い評価を受けており、学校や子どもたちからのニーズも多い。												
3-3-2 自然体験 活動の支 援	学校 教育課	小中学校にお ける環境教育 の促進	学校における各教科等や学校教育活動全体を通して、環境を大切にす児童生徒の育成に努めました。		1.5		1.0	1.0	3.5	6.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			73校 ⇒ 73校	成果指標は、環境に関する学習を年間10時間以上実施した学校数								
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
3-3-2 自然体験活動の支援	生涯学習課	子どもの自然体験活動推進事業	子どもの生きる力を育むため、宮崎の自然・関連施設を活用した自然体験活動を実施しました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			1,100人 ⇒ 1,338人	子どもの参加者数								
			【特筆事項】									

基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実

主な施策 4 次世代の育成

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S……4.5点以上 A……4.0～4.4点 B+……3.5～3.9点 B……3.0～3.4点 C……2.9点以下
B	3.0	18.0	6	

施策推進のための管理指標の状況

指標	内容	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
指標1	児童子育て講座実施数【生涯学習課】						
進捗状況	家庭教育事業の中で講座を実施している。	34校	33校	30校	-	-	48校
指標2	家庭教育学級登録者数【生涯学習課】						
進捗状況	合同研修会等を利用して、家庭教育学級の登録者の増加に取り組んでいる。	2,942人	2,863人	2,845人	-	-	3,050人

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
3-4-1 保護者への研修機 会の提供	生涯学習課	家庭教育事業	家庭教育力の向上を図るため、講座等を開催しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	9.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			400講座 ⇒ 455講座	家庭教育学級講座数								
			【特筆事項】									
3-4-1 保護者への研修機 会の提供	生涯学習課	成人教育推進事業	成人団体指導者の育成、成人の社会参加を進める事業を実施しました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			4,000人 ⇒ 3,714人	市PTAブロック別研修会参加者数								
			【特筆事項】 平成25年度から、市PTAブロック研修会は市PTA協議会主催となった。									

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計
				有り	無し	ハード	ハード以外			
3-4-1 保護者への研修機 会の提供	生涯学習課	人権教育推進 事業	人権尊重について理解を深める啓発活動等により人権尊重の教育の充実を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			5,000人 ⇒ 4,079人	市PTA人権教育研修会参加者数						
			【特筆事項】							
3-4-2 子どもの社会性を 育成する機会 の提供	生涯学習課	子ども会関係 活動事業	子ども会活動の活性化、少年リーダー及び成人指導者の育成を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0	9.0
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			70% ⇒ 64%	子ども会加入率						
			【特筆事項】							
3-4-2 子どもの社会性を 育成する機会 の提供	生涯学習課	九州都市中 学 生交流 ^{*18} 事業	野外での体験活動等の交流活動を通して、豊かな人間関係づくりや、次代を担う青少年としての資質を育成するとともに、九州各都市の相互交流・交歓の充実を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			9回 ⇒ 9回	引率者事前打合せ会、結団式、事前研修会、大会、事後研修会実施回数						
			【特筆事項】							
3-4-2 子どもの社会性を 育成する機会 の提供	生涯学習課	青少年団体教 育推進活動	青少年の健全育成や指導者育成を目的として活動している社会教育関係団体に対して支援を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			2,800人 ⇒ 1,818人	社会教育関係団体の企画した行事への参加人数						
			【特筆事項】 活動内容が天候に左右される部分が多く、平成26年度は実施できなかった行事があった。							

基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実

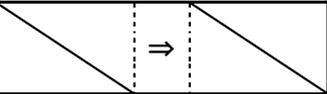
主な施策 5 食育の推進

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S……4.5点以上 A……4.0～4.4点 B+……3.5～3.9点 B……3.0～3.4点 C……2.9点以下
B	3.0	9.0	3	

施策推進のための管理指標の状況

指標	内容	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
指標1	食に関する指導の年間指導計画を作成している学校数【保健給食課】						
進捗状況	指導計画の作成校が伸び悩んでいるため、計画作成のための研修会の実施等を検討している。	55校	55校	55校	-	-	73校
指標2	毎朝、朝食を食べる児童生徒の割合【保健給食課】						
進捗状況	学校での指導により朝食を食べる割合が増えている。	91%	93%	95%	-	-	100%

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
3-5-1 食育を推進する校内体制の充実	保健給食課	食育推進事業 (食育実践事業)	児童生徒が健全な食生活を自ら営むことができる知識及び態度を養うための支援策として各学校で取り組む食育に対して必要な費用(消耗品費・報償費)等の助成を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			【特筆事項】									
3-5-2 食育を家庭へとつなげる取組の推進	保健給食課	食育推進事業	給食献立表や食育だより等を配布し、望ましい食習慣を身につけることの大切さについて周知を図りました。また、親子で食べることの大切さについて考える機会の提供・児童が自ら実践できる力を育むことを目的に親子料理教室を実施しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			【特筆事項】									

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
3-5-3 学校給食 を活用した食育の 推進	保健給食課	食育推進事業	毎月16日に「ひむか地産地消の日」を設け、献立に郷土料理を入れるとともに、地場産物を積極的に活用する取組みを実施しました。		1.0		1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
												
			【特筆事項】									

基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実

主な施策 6 公立公民館等の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S……4.5点以上 A……4.0～4.4点 B+……3.5～3.9点 B……3.0～3.4点 C……2.9点以下
B	3.1	18.5	6	

施策推進のための管理指標の状況

指標 1	公立公民館等*19の使用者数【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	使用者数は、各公民館ごとで前年度の増減に差異があるが、公立公民館全体(平成26年度は29館)の利用者数は増加の傾向にある。	817,529 人	797,676 人	866,806 人	-	-	870,000 人

施策の 方向性	担当 課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策 の方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
3-6-1 公立公民館等の魅力の創出	生涯学習課	公立公民館等 管理運営費	生涯学習及び地域コミュニティ活動などの拠点施設として、市民が快適に利用できるよう、適切な管理運営を地域振興部と連携して行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	18.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			855,000人 ⇒ 866,806人	公民館利用者数								
			【特筆事項】									
3-6-1 公立公民館等の魅力の創出	生涯学習課	公立公民館等 学級講座開設 事業	市民の生きがいづくりや地域づくりを促進するため、公立公民館等において、地域住民の幅広い学習機会の提供に努め、多種多様な講座や移動公民館を実施しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	18.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			30,000人 ⇒ 29,859人	公民館講座受講者延べ人数								
			【特筆事項】									

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
3-6-1 公立公民館等の魅力の創出	生涯学習課	公立公民館等施設整備改善事業	公立公民館等の長期利用化を図るとともに、利用者の利便性を向上させるため、施設整備等を行いました。	1.0		1.0		1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			【特筆事項】									
3-6-1 公立公民館等の魅力の創出	生涯学習課	公立公民館建設事業(広瀬地区交流センター整備)	新市建設計画等に基づき広瀬地区交流センターの整備を行いました。	1.0		1.0		1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			【特筆事項】									
3-6-1 公立公民館等の魅力の創出	生涯学習課	公立公民館建設事業((仮称)加納地区公立公民館建設事業)	新市基本計画等に基づき、加納中校区の公立公民館の設計等を行いました。	1.0		1.0		1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			【特筆事項】 清武中校区の公立公民館建設については、今後、建設に向けた準備を行う。									
3-6-1 公立公民館等の魅力の創出	生涯学習課	公立公民館建設事業(青島地域複合型防災施設整備事業)	宮崎市公共施設経営基本方針に基づき、地域の主な公共施設を再配置し、青島地域複合型防災施設を整備するため地質調査等を行いました。	1.5		1.0		1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			【特筆事項】 施設整備においては、関係各課と連携して事業を実施している。									

重点目標

重点施策 防災教育の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S・・・4.5点以上 A・・・4.0～4.4点 B+・・・3.5～3.9点 B・・・3.0～3.4点 C・・・2.9点以下
B ⁺	3.9	19.5	5	

施策推進のための管理指標の状況

指標	内容	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
指標 1	「宮崎市防災教育手引書」を活用した授業を実施した学校の割合【学校教育課】						
進捗状況	「宮崎市防災教育手引書」活用推進ワーキンググループにより、手引書の改訂、実践報告を行っている。	-	26.3%	63.2%	-	-	100%
指標 2	家庭・地域と連携した避難訓練を実施した学校の割合【学校教育課】						
進捗状況	「宮崎市防災教育手引書」活用推進ワーキンググループにより、避難訓練を公開したり、取組を紹介したりしている。	-	27.3%	49.3%	-	-	100%

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
重点-1 教育活動全体を通じた防災教育・減災教育の充実	企画総務課	がんばろう東北子どもたちふれあい交流事業	平成26年度は、被災地の山元町から、山下中学校と坂元中学校の生徒を招待し、宮崎東中学校や生目南中学校の生徒が中心となって交流を通じた防災意識の高揚を図りました。	1.0			1.0	2.0	4.0	8.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			25人 ⇒ 25人	交流事業参加者数								
【特筆事項】 宮崎東中学校における交流会や、生目南中学校のホームステイの受け入れ等による交流を通して、実際に現地の被災者と触れ合い学びあうことができたため、自己評価を2.0とした。												
重点-1 教育活動全体を通じた防災教育・減災教育の充実	学校教育課	ワーキンググループによる宮崎市防災教育手引書の活用促進	「宮崎市防災教育手引書」活用推進ワーキンググループにより、手引書の改訂、実践報告を行い、手引書の活用を図りました。		1.0		1.0	2.0	4.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			100% ⇒ 63%	成果指標は、アンケート回答で授業で活用したことがあると答えた割合								
【特筆事項】 授業で手引書を活用した割合が平成25年度は26%であったが平成26年度は63%になり、手引書活用へ向けた教師の意識の向上がみられた。												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
重点-2 さまざまな状況を想定した実効性のある避難訓練の推進	学校教育課	ワーキンググループによる地域と連携した避難訓練の公開実施	「宮崎市防災教育手引書」活用推進ワーキンググループにより、避難訓練を公開し、取組についての理解を深めました。		1.0		1.0	2.0	4.0	4.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			40校 ⇒ 36校	成果指標は、調査で実施していると回答した学校数								
			【特筆事項】 地域と連携した避難訓練を公開したことで、教師の理解が深まるとともに、学校が自主的に自治会と連携した避難訓練を実施するなど、地域と連携した取組が広がってきた。									
重点-3 防災主任を中心としたリーダーの育成	企画総務課	がんばろう東北子どもたちふれあい交流事業(防災教育セミナーの開催)	防災主任をはじめとする本市の学校関係者の災害に対する意識を高めるため、東日本大震災において、学校現場で被災した現地教諭による被災時の状況や災害対策についてのセミナーを開催しました。	1.0			1.0	2.0	4.0	7.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			100人 ⇒ 183人	セミナーの参加者数								
			【特筆事項】 学校現場で被災した教諭を講師に迎えたことで、より学校における災害を身近に感じる事ができたこと、また、各小中学校の防災主任のうち、7割以上の参加があったことから、自己評価を2.0とした。									
重点-3 防災主任を中心としたリーダーの育成	教育情報研修センター	教職員研修運営事業(防災主任等研修)	防災教育の研修を行い、防災主任の資質向上を図りました。	1.0			1.5	1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			2回 ⇒ 2回	研修を行った回数								
			【特筆事項】									

5 宮崎市教育委員会の総合評価

(1) 教育委員会活動

教育委員会活動については、平成26年度の教育委員会活性化プランに沿って、市長、中学生、保護者との意見交換会をそれぞれ行い、本市の教育に関する課題を共有することができました。特に、市長との意見交換会においては、新教育委員会制度への移行時期について市長と教育委員会両者の考えが一致していることや、それぞれのみやざきっ子の育成に対する深い思いを確認できました。

平成26年度の教育委員会活動については、活性化プランどおり実施することができ、教育に関する課題を共有することが出来たと感じています。

(2) 教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会会議）

教育委員会が管理・執行する事務につきましては、事務局から出された議案や報告に対し、積極的に議論や意見交換を行いました。特に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、多くの条例や規則の整備について審議し、委員同士で活発に意見を交わすことができました。

また、新教育委員会制度への移行に合わせて、教育委員会会議の運営の在り方についても見直しを行い、会議がより活発な議論や意見交換の場となるよう、検討を重ねました。

(3) 教育委員会が管理・執行する事務を教育長に委任する事務等

本年度の評価については、平成26年度の結果と大きく変動するようなことはありませんでしたが、平均値は3.41点から3.49点に微増していることから、本市の教育ビジョンの基本目標1から基本目標3及び重点目標について、事務局の自己点検・評価の結果を精査する限り、適正に執行できていると言えます。また、ポイントの上昇は小さいですが、施策の推進のために事業を積極的に実施している傾向がみられたと思われます。

(4) まとめ

平成26年度は、新教育委員会制度への移行へ向けて、新しい制度についての理解を深める一方、旧制度についても改めて見直す中で、本市の教育の現状と課題を共有することができ、委員同士での意見交換をより活発に行うことができました。

また、教育委員会として多くの事案に対し責任をもって対処できたと考えています。

6 委員の意見等

- 施策の方向性に関連する事業等のポイント化について
 - (意見) 自己評価について、前年との比較になるので、例年通りの高い水準で推移したとしても高い点数がつけづらい。例年通り高い水準で実施できた事業については、【良好(2点)】としてもいいのではないか。
 - (意見) 自己評価について【1. 5点】を加える等、前年通りの高い水準で事業が実施できた場合に【普通(1点)】になってしまわないような工夫が必要ではないか。
 - (意見) どうしても評価がBやB+に集まってしまう傾向がある。例えば評価の項目に「教育長評価」等を加えてはどうか。
- 主な施策別の点検・評価の前年度評価比較表について
 - (意見) 前年度対比として、なぜ評価が変動したのか、特記することによって分かりやすく説明をしたほうがいいのではないか。
- 施策推進のための管理指標の状況について
 - (意見) アンケート未実施の項目については、その旨を説明する記述があるとよい。
- 1-1 確かな学力の向上について
 - (感想) 学校訪問の際に、学力向上に関しては喫緊の課題として、各学校で取り組んでいただいている様子をうかがい知ることができた。
- 1-3 特別支援教育の充実
 - (意見) 宮崎市が特に力を入れている分野である。自己評価の点数を見直したり特筆事項を充実させることで、現状に合った評価を市民に示せるようにしてはどうか。
- 1-5 学校保健活動の充実
 - (質問) アナフィラキシー対応緊急時マニュアルを作成していない学校があるが、問題はないのか。
 - (説明) 作成していない学校については、国の指針に基づいて対応している。
- 2-2 読書活動の推進について
 - (意見) 蔵書率や学校司書等、分かりづらい用語がある。専門的な用語については注釈をつけてはどうか。

●全体を通しての意見

・教員がたくさん研修を受けているが、その内容について、ぜひ保護者へ発信してほしい。

・現状把握と改善への意欲を感じることができた。

評価とは査定するだけのものではなく、市民に対してアピールをし、より深く理解していただくことが大切である。冊子ではなく、宮崎市教育委員会の取組の良さがより分かりやすく伝わるような資料があってもいいのではないか。

7 今後の対応

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務等について、ポイント化による点検評価を行っておりますが、評価が前年度との比較となるため、例年通りの事業の実施では点数が伸びない状況があります。特に、例年通り高い水準で事業が実施できている場合に、それに見合った得点となるよう、ポイント化の方法について検討していきます。また、この点検評価を単なる事業の査定として終わらせるのではなく、教育委員会の取組を市民の皆様により知っていただくために、その周知方法も検討していきます。

用語解説

*1 CRT検査

Criterion Referenced Test の略 教科における年間の指導目標をどの程度達成しているかを確認するための検査。

*2 ICT

Information and Communication Technology の略 コンピュータや情報通信ネットワーク（インターネット等を含む）などの情報コミュニケーション技術のこと。

*3 適応指導教室

不登校等の児童生徒及びその保護者、学校に対して不登校の解消や改善を目指した支援を行う市内6箇所に設置している教育施設。

*4 スクールアドバイザー

不登校解消を目指した児童生徒を支援する者。

*5 スクールアシスタント

生徒の悩み相談やいじめ・不登校対応、家庭や地域社会との連携等を支援する者。原則として、いじめ・不登校、非行等問題行動など生徒指導上の課題のある5学級以上の中学校を選定し、教職経験者や青少年団体指導者など地域の人材の中から教育委員会が選定する。

*6 スクールカウンセラー

いじめや不登校に関する保護者や教職員の相談ニーズに対応する専門的知識を有する者。

*7 スクールソーシャルワーカー

児童や生徒などが抱えている問題に対し福祉的なアプローチで問題解決を支援する専門職。

*8 特別支援教育スクールサポーター

通常の学級の特別な支援を要する児童生徒に対し、学習指導及び生活指導の補助を行う支援員。

*9 教育アシスタント

下肢等に障がいのある児童生徒の学習補助や生活介助等を行う支援員。

*10 フッ化物洗口

低濃度のフッ化物溶解液でブクブクうがいをすることで、口の中に定期的にフッ化物イオンを増やし、永久歯のむし歯予防をする。

***11 アナフィラキシー**

アレルギー反応により、皮膚症状や消化器症状、呼吸器症状が複数同時にかつ急激に出現した状態をアナフィラキシーと言い、その中でも、血圧が低下して意識の低下や脱力をきたすような場合を、特にアナフィラキシーショックと呼び、ただちに対応しないと生命にかかわる重篤な状態であることを意味する。

***12 フッ化物応用**

水道水や食品への添加のような全身応用と、フッ化物洗口やフッ化物塗布及びフッ化物配合歯磨剤などの局所応用に分類される。現在、日本で実施しているフッ化物応用は局所応用のみである。

***13 ALT**

Assistant Language Teacher の略 教育委員会や学校で、外国語担当教員等の助手として職務に従事する外国人講師。

***14 蔵書率**

各学校における学校図書館図書標準に基づく蔵書冊数に対する現在の蔵書冊数の割合。

***15 学校司書**

学校図書館に関する業務を担当する職員。(教員を除く)

***16 待機児童**

児童クラブ利用を希望しているが、定員に達しているため入会できない児童。

***17 評価委員**

職種は、元校長などの学校関係者、幼稚園長、自治会長、民生委員・児童委員、PTA役員、青少協会会長、放課後子ども教室コーディネーター、まちづくり推進委員会会長など。

***18 九州都市中学生交流大会**

九州4都市(熊本市、大分市、宮崎市、鹿児島市)の中学生の代表者が一堂に会し、交流活動を行う。

***19 公立公民館等**

各地域の自治会が管理運営している自治公民館ではなく、「1中学校区に1館」の本市の基本的な考えに基づき設置された施設で、「〇〇公民館」「〇〇地区交流センター」「〇〇地区農村環境改善センター」「〇〇コミュニティセンター」の名称がある。